

5. シラバス

(1) 基礎分野

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画 (シラバス)

科目名	文学			
履修年次	1年次	履修学期	前期	授業形態 講義
曜日・時限	月曜日・1時限	単位時間数	1単位(30時間)	
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし	
目的/概要	文学作品にふれ、表現方法を学ぶとともに、人間の心の理解について学ぶ。 具体的かつ論理的なレポートの書き方を学ぶ。			
到達目標	文学を通して日本語表現の基礎的な知識を習得する。 文学作品を通し、人間の心の理解につなげる。 事実を具体的に論理的に記述する方法を習得する。			
授業計画	時期	授業内容		
	1	ガイダンスー文学の特質ー		
	2	表現を読む①ー「羅生門」の細部に注目して読むー		
	3	表現を読む②ー「羅生門」の構図とモチーフに注目して読むー		
	4	日本語表現①ー文の構造・助詞ー		
	5	日本語表現②ー話し言葉と書き言葉ー※小テスト1		
	6	日本語表現③ー書いてみよう・敬語①ー		
	7	日本語表現④ー書いてみよう・敬語②ー		
	8	レポートの書き方概説、文献書籍の検索方法※小テスト2		
	9	表現を能動的に読む①ー「金の輪」ー		
	10	古典文学の概説、レポート作成の練習①		
	11	表現を能動的に読む②ー「源氏物語」と和歌ー		
	12	レポート作成の練習②		
	13	古典文学に描かれる【病】と【死】		
	14	映画に描かれる【病】と【死】		
15	筆記試験および講義のまとめ			
使用教材	テキスト：『大学生のための日本語表現実践ノート 改訂版』 (風間書房、2010年3月) プリント			
履修上の注意	特になし			
成績評価の方法	筆記試験及び課題レポートで評価する。60点以上合格			

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025度 授業計画（シラバス）

科目名	情報科学				
履修年次	1年次	履修学期	前期・後期	授業形態	講義
曜日・時限	月曜日・4時限	単位時間数	2単位(45時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	情報処理業務経験有		
目的／概要	情報通信技術（ICT）の正しい活用と情報リテラシー（目的に応じた情報の活用）を学ぶ。 コンピューターの活用方法を学び、文章の作成・統計処理・効果的なプレゼンテーションができる。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 情報通信技術（ICT）の正しい活用方法がわかる。 2. 目的に応じた情報の活用方法がわかる。 3. PCを活用し、Word、Excel、PowerPointの基本操作を活用できる。 				
授業計画	時期	授業内容			
	1	オリエンテーション 情報とデータの違い			
	2	電子教科書の活用法			
	3	PCの利用法 USBメモリのセキュリティ			
	4	インターネットと情報のセキュリティ			
	5	SNSの功罪、情報過多社会、情報（処理）学の看護学への適用			
	6	Zoom授業の方法①			
	7	Zoom授業の方法②			
	8	情報とは、情報用語解説、情報の信頼性			
	9	病院情報システムと電子カルテ、クリティカルパス			
	10	EBN 学術雑誌散見			
	11	MS-Word基礎（日本語入力・文字装飾・ページレイアウト）			
	12	MS-Word応用（段組・ルビ・表・図形描画・ワードアート）、課題作成			
	13	MS-Word応用 課題作成			
	14	MS-Excel基礎（セルの概念・書式設定・絶対/相対参照・罫線）			
	15	MS-Excel基礎（関数（SUM、AVE、MAX、MIN、COUNT、IF、STDEV））			
	16	MS-Excel基礎（グラフ・標準偏差Tバー・印刷）			
	17	MS-Excel応用（関数とグラフ）、課題作成			
	18	MS-Excel応用 課題作成			
	19	MS-PowerPoint基礎（プレゼンテーションとは）			
	20	MS-PowerPoint基礎（スライド作成・アニメーション）			
	21	MS-PowerPoint基礎 課題作成			
	22	MS-PowerPoint応用（作成した課題を班内で発表）			
	23	課題提出（1時間）			
使用教材	ビジネスOfficeスキルこれだけ！Excel&PowerPoint&Word&Office365頻出ワザ&便利テク2019/2016/2013/2010 ビジネスOfficeこれだけ編集部				
履修上の注意	PC操作に不慣れな者は、意識して頻繁にPCに触れる機会を増やし、出来るだけ早く操作に"慣れる"ように。				
成績評価の方法	講義中に適宜出される提出課題により評価する。60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	教育学				
履修年次	1年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限		単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
目的/概要	教育に関する基本的な知識・理論を学び、看護における教育的かかわりや指導的かかわりに対応する基礎的能力を身に付ける				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 教育に関する基本的な知識・理論を理解する 2. 教育に関する知識・理論を看護に関連付けられるようになる 				
授業計画	時期	授業内容			
	1	イントロダクションーなぜ看護学校で教育学を学ぶのか？ー			
	2	教育原理ー教育学とは何か？ー			
	3	教育学の基礎① 教育の歴史			
	4	教育学の基礎② 教育の理念			
	5	人間の発達と学習① 子どもの発達と人間の成長			
	6	人間の発達と学習② 学習の原理			
	7	医療・看護・教育① 病弱教育			
	8	医療・看護・教育② 看護教育は何か			
	9	医療・看護・教育③ 保健医療における人間関係			
	10	共感と他者理解① コミュニケーション			
	11	共感と他者理解② コーチング			
	12	メンタルヘルスと心のケア			
	13	教育評価			
	14	授業の総まとめ			
15	筆記試験（45分）				
使用教材	<p>教科書は指定しないが、下記を参考文献として紹介する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木村 元編（2021）『教育学 第8版』医学書院。 ・グレッグ 美鈴・池西 悦子編（2018）『看護教育学ー看護を学ぶ自分と向き合うー』南江堂。 ・石川 ひろの(著者代表)（2018）『人間関係論 第3版』医学書院。 ・中井 俊樹・小林 忠資編（2015）『看護のための教育学』医学書院。 				
履修上の注意	シラバスの予定は変更になることがあります。				
成績評価の方法	授業への出席・コメントペーパー（30%）、筆記試験の成績（70%）をもとに評価する。 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	哲学				
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
目的/概要	人間について、人間の生き方について幅広く理解し、人間の理解を深める。				
到達目標	(1) 哲学の歴史を学び、哲学的な「問い」の本質を明らかにすることができる。 (2) 哲学の歴史を学び、哲学的な「問い」を自ら引き受けることができる。 (3) 哲学史の内容を看護の問題として理解することができる。 (4) 哲学的諸問題を看護の問題に関連づけ主体的かつ能動的に考えることができる。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	哲学と看護 哲学の始まり			
	2	古代編1 (ソクラテス) 無知の知と魂への配慮			
	3	古代編2 (プラトン) アイデア			
	4	古代編3 (アリストテレス) 四原因論			
	5	近代編1 (近代の始まりー自然科学の発展・ルネサンス・宗教改革)			
	6	近代編2 (大陸の合理論ーデカルト) 心身二元論			
	7	現代看護と医療における「心身二元論」の問題			
	8	近代編3 (カントの哲学1) 実践理性の哲学を中心に			
	9	近代編4 (カントの哲学2) 近代の人間観をかえりみる			
	10	現代看護と医療における「人格」概念			
	11	近代編5 (ヘーゲルの哲学) 弁証法			
	12	現代編1 (ニーチェ) ニヒリズムと「超人」			
	13	現代編2 (ハイデガー) 死へと至る存在			
	14	現代看護と医療における「生」と「死」			
15	哲学と看護ーその学びを振り返って 看護実践への道 (テストを含む)				
使用教材	教科書：『看護と人間に向かう哲学』ヌーヴェルヒロカワ				
履修上の注意	教科書以外の参考文献については、授業時に指示する。				
成績評価の方法	以下の項目を中心に総合的観点からに評価する。 1 講義時のコメントペーパー[ビデオ学習時] 2 小テスト[授業確認テストを3回] 3 レポート[看護と哲学にかかわるもの] 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画 (シラバス)

科目名	物理と看護				
履修年次	1年次	履修学期	前期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	火曜日・4時限	単位時間数	1 単位(15時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	理学療法士としての病院勤務でポディメカニクス・治療機器等の実務経験あり。医学博士として医工学系大学院での教員従事		
目的/概要	本講義では、物理学の基本的知識を学び、検査・治療・処置などの看護場面における、物理学的法則を理解することを目的としています。また、看護場面におけるポディメカニクスやその他看護ケアについて、物理学的理屈に基づいて関連づけて考えられるよう説明していきます。さらに、実践できるよう実演実習も取り入れます。具体的には物理学を応用した介護技術を実践する。その他、身体の仕組みや医療機器の原理を物理学的に学ぶことで、医療従事者としての論理的思考能力を養えるよう図ります。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自然現象に見られる力、光、電気等における物理学の基本法則を理解する 2. 看護・医療の場面で扱う身体の仕組みや医療機器の原理について物理学の基本法則を基に理解する 3. 看護場面で扱う電気・濃度・力について計算が出来る。 				
授業計画	時期	授業内容			
	1	物理学概論、医療現場への物理的知識の応用例、四則演算・濃度計算			
	2	力・重力の物理（ニュートン・てこ）、力と看護ポディメカニクスを理解する			
	3	圧力・重心の物理、姿勢変換による体圧の変化・重心と体位変換を理解する			
	4	圧力（水圧・浮力・気圧）の物理、圧力と呼吸運動について理解する			
	5	圧力と音、血液循環や灌流・血圧変化・体温調節について理解する			
	6	光・電気・エネルギー、レントゲンや放射能について理解する			
	7	電気・濃度・力の計算・試験対策（45分）			
	8	筆記試験（1時間）解説（30分）			
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門基礎 物理 医学書院				
履修上の注意	教科書以外の参考文献については、授業時に指示する。				
成績評価の方法	筆記試験 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	英語 I				
履修年次	1年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	月曜日・2時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
目的／概要	世界の共通言語として、英語力を身につける。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 英語の読解力や文章表現、日常会話の技術を高める。 2. 看護英語に関する基礎知識を習得する。 				
授業計画	時期	授業内容			
	1	授業に関するオリエンテーション、自己紹介			
	2	Unit1 D1 Emergency department Reception desk			
	3	Unit1 D2 Examination room			
	4	Unit1 D3 Giving injection			
	5	Unit1 D4 Explanation to a family member			
	6	Unit1 Quiz			
	7	Unit1 Quiz 続き 身体の名前および器官の名前			
	8	Unit2 D1 Meeting the patient Self-introduction and first meal			
	9	Unit2 D2 Orientation to the Ward			
	10	Unit2 D3 Asking height, weight, and temperature			
	11	Unit2 D4 Obtaining the patient's history			
	12	映画による聞き取り①『プロデューサーズ』			
	13	映画による聞き取り②『プロデューサーズ』			
	14	Unit2 Quiz、診療科名など			
15	復習、筆記試験				
使用教材	教科書：Paul Zito 早坂真佐子著『看護英会話標準テキスト』日総研				
履修上の注意	知識定着のため、毎回小テストを授業内で実施				
成績評価の方法	筆記試験の素点+平常点（出席状況、授業へ取り組み姿勢および態度など）を総合的に評価 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	英語 II				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	月曜日・1時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
目的/概要	看護に必要な日常英会話および医療に関する専門用語を学ぶ。 英語の文献を活用できる能力を身につける。				
到達目標	1. 看護に必要な英語表現を習得する。 2. 医療に関する専門用語を学習する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	Unit3 D1 General care of patients Checking the patient's condition			
	2	Unit3 D2 Blood test explanation (検査名①)			
	3	Unit3 D3 Drawing a blood sample(bloodを使った表現①)			
	4	Unit3 D3 続き(bloodを使った表現②、血管の名称など)			
	5	Unit3 Quiz			
	6	Unit4 D1 Operation orientetion Explaining about the operation:Basic procedures			
	7	Unit4 D2 Explaining about the operation :Anesthesia			
	8	Unit4 D3 Taking the patient into surgery			
	9	Unit4 Quiz			
	10	Unit5 D1 Postoperative care:Observation ater operaition(1)			
	11	Unit5 D2 Postoperative care:Observation ater operaition(2)			
	12	映画による聞き取り①『五線譜のラブレター』			
	13	映画による聞き取り②『五線譜のラブレター』 患者のQOLや自己決定権			
	14	Unit5 D2の続き Unit5 D3 Urinary catheterization(1)			
15	復習、筆記試験				
使用教材	教科書：Paul Zito 早坂真佐子著『看護英会話標準テキスト』日総研				
履修上の注意	知識定着のため、毎回小テストを授業内で実施				
成績評価の方法	筆記試験の素点+平常点（出席状況、授業へ取り組む姿勢および態度など）を総合的に評価 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	心理学				
履修年次	1年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	木曜日・2時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
目的/概要	人間の心の発達と働きを学び、様々な状況における人間の行動を理解する。				
到達目標	1. 人間の心の基礎的な仕組みを知る。 2. 人間の行動を身近な現象や看護場面と結びつけて説明できる。				
授業計画	時期	授業内容	準備学習		
	1	心理学とは何か。方法論について	事前準備：「心理学」と聞いてどのようなことをイメージしますか。考えてみてください。（概ね30分）		
	2	感覚・知覚：感覚入力と心の関係	普段見たり、聞いたりしているもので、不思議に思うことはありませんか。考えてみてください。（概ね30分）		
	3	学習：条件づけ、観察学習	事前準備：自身や周りの人の行動を注意深く観察して、どうしてその行動をとったのか考えてみてください。（概ね30分）		
	4	感情と動機づけ：情動の生起、欲求の階層	事前準備：自分にとって一番必要だと思う感情はどのような感情ですか。考えてみてください。（概ね30分）		
	5	記憶：二貯蔵庫モデル、忘却のメカニズム	事前準備：テストや日常生活で何かを記憶する時、よく覚えておくために工夫していることはありますか。（概ね30分）		
	6	発達①：乳幼児期、児童期の発達の特徴	事前準備：今まで成長・発達していくにあたって、どんな「困難なこと」があったでしょうか。支障のない範囲で考えてみてください。（概ね30分）		
	7	発達②：青年期から老年期までの発達の特徴	事前準備：大人になるってどういうことだろう。自身がどんな大人になりたいか考えてみてください。（概ね30分）		
	8	知性と感性：頭の良さとは何か、創造的思考	事前準備：「頭が良い人」とは、どのような人のことをいいますか。考えてみてください。（概ね30分）		
	9	性格：パーソナリティの理論と形成	事前準備：「心理テスト」と聞くと、どんなものを思い浮かべますか。考えてみてください。（概ね30分）		
	10	社会①：対人魅力、うわさ	事前準備：あなたが魅力的だと思う人はどのような人ですか。考えてみてください。（概ね30分）		
	11	社会②：説得、集団心理	復習：本時で学んだことを、自分自身の行動と結びつけながら振り返ってみてください。（概ね30分）		
	12	臨床①：精神的健康と適応/不適応・ストレスとその対処	事前準備：心が健康であるためにはどのようなことが必要だと思いますか。考えてみてください。（概ね30分）		
	13	臨床②：非支持的なカウンセリング	事前準備：自分がどのような場面でストレスを感じるか考えてみてください。（概ね30分）		
	14	臨床③：支持的なカウンセリング	復習：他人の悩み相談をする際に、どういったことを工夫していますか。（概ね30分）		
	15	まとめ・筆記試験：身近な現象と心理学			
使用教材	特に指定しない。適宜、配布資料を用意する。				
履修上の注意	授業ごとにフィードバックシートを配布し、そこに書かれた質問・課題に適宜答える形で学生へのフィードバックを行う。体験課題には意欲的に取り組み、自己や他者への理解を深めてください。				
成績評価の方法	筆記試験 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	社会学				
履修年次	1年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	火曜日・3時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
目的/概要	社会学の理論と実践を学び、人々の在り方を社会の動向や変化と結びつけて理解する。				
到達目標	1. 社会的な見方・考え方を学ぶ。 2. 健康や勤労、医療との関連を理解する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	イントロダクション「社会学とは何か」 社会学という学問の基本的な考え方（ものの見方）を学び、看護師として成長していくために、社会学の考え方がどのように役立つかを考えます。			
	2	社会学の理論			
	3	社会学の基本的な理論として存在する機能理論、葛藤理論、象徴的相互作用論について身近な具体的事例とともに学びます。			
	4				
	5	現代社会と家族			
	6	家族関係や家族の役割の変化などについて扱います。また高齢化の状況などについても扱います。			
	7	医療・福祉と社会			
	8	医療のあり方は医学の進歩に従って変わっていきます。現代社会における医療・福祉のあり方を、特に政策や社会通念に着目して考えます。			
	9	社会と文化			
	10	国や地域、家庭それぞれにそれぞれの文化があり、それを尊重すべきだと考えられています。しかし、「文化」とはそもそも一体何なのでしょう。メディアなども含め文化について考えます。			
	11	社会と健康			
	12	社会の中における雇用の多様化や社会経済的な立場の違いが、健康にどのような影響を与えるのかについて扱います。			
	13	社会と組織			
	14	病院、学校、役所などの組織があるが、その中で私たちはどのように振る舞うかについて考えます。			
15	現代社会の課題とこれまでのまとめ 筆記試験				
使用教材	教科書は指定しないが、参考文献について以下のものを示しておく。 系統看護学講座 基礎分野『社会学』医学書院 アンソニー・ギデンズ『社会学』而立書房 宮内泰介『社会学をはじめ』筑摩書房				
履修上の注意	・授業終了10分前に簡単なコメントペーパーを記入してもらう。				
成績評価の方法	筆記試験 70% 授業への参加度（出席、発言、確認テスト等） 30% 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	人間関係論				
履修年次	1年次	履修学期	前期	授業形態	演習
曜日・時限	金曜日・3.4時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
目的/概要	人間関係論の成立に向けたコミュニケーションや行動を理解する。				
到達目標	討議法ゲームを通して、信頼関係を築くためのスキルを学ぶ。 コミュニケーションスキルを学ぶ				
授業計画	授業内容				
	1	自己紹介（氏名、出身地、学校を選んだ理由等） はじめましてゲーム（グーパー、後出しじゃんけん、協調グーパー）			
	2	グループワーク （グループの人の良いところを探そう、人の話を聴く、否定しない） 印象ゲーム・ベスト9			
	3	グループワーク （相手を思いやる、私も心を開くので） 3億円勝負、都道府県ビンゴ			
	4	チャレンジ・ザ・ゲーム（グループでお互いに助け合う） キャッチング・ザ・スティック、ボール送り			
	5	チャレンジ・ザ・ゲーム（グループでお互いに助け合う）			
	6	チャレンジ・ザ・ゲーム（練習の成果をみる）			
	7	チャレンジ・ザ・ゲーム（練習の成果をみる）			
	8	試験（1時間）			
使用教材	特になし				
履修上の注意	ジャージ着用、メモ帳・筆記用具持参				
成績評価の方法	授業態度などで総合的に判断する。60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	カウンセリング				
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	月曜日・4時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
目的/概要	カウンセリングの基礎と方法を学ぶ。				
到達目標	①治療者と患者が接する場面における心理状況 ②患者と接する際の配慮 のそれぞれの一端を理解する				
授業計画	時期	授業内容			
	1	精神疾患を持つことになるとき			
	2	精神疾患を持つひとへの支援			
	3	そのひとなりの理解を尊重しようとする			
	4	おなじものを見ていこうとする			
	5	外在化してみる			
	6	置き換えられているものへのまなざし			
	7	バウンダリーをつくる			
	8	価値下げをすることでこころを守る			
	9	そのときまたいっしょに考える			
	10	Playing			
	11	時間の枠を設定すること			
	12	カウンセリングにおける共感			
	13	ネガティブケイパビリティを養う			
	14	わかっていない前提に立ってみる			
15	筆記試験				
使用教材	テキスト：こころのナース夜野さん 1～3巻 小学館				
履修上の注意	授業内のワークに参加すること				
成績評価の方法	授業内レポート、筆記試験および授業態度によって評価する。 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	音楽				
履修年次	1年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	水曜日・2時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
	音楽療法士	実務経験	なし		
目的/概要	音楽に親しみ、感性を豊かにする。 医療における音楽療法について理解する。				
到達目標	1. 発声方法を学び、声を出しことにより音楽を楽しむ。 2. 医療における音楽療法について学ぶ。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	自己紹介（音楽経験等）、身体を楽にした発声、「校歌」歌詞を理解し音をとる			
	2	お腹を使った発声、「校歌」パート毎に音をとる			
	3	顔の筋肉を柔らかくした発声、「校歌」強弱をつける、歌詞をはっきり発音			
	4	「曲①」歌詞を詠み音をとる、「校歌」相手の音を聴きハーモニーを意識した歌い方			
	5	校歌歌唱試験			
	6	「曲①」音を取り、強弱をつける。ハーモニーを意識して歌う「曲②」音をとる「童謡」リズムをとる			
	7	「曲②」強弱をつける「童謡」輪唱、重なる音を聴く			
	8	音楽鑑賞「ベートーヴェン物語」			
	9	「曲③」歌詞を詠み音を取り、強弱をつける			
	10	「曲①」「曲②」「曲③」ハーモニーを聴く、伴奏に合わせて歌う			
	11	サウンドスケープ（身の周りの音に耳を傾ける）リズムを使って音楽を作る			
	12	植木	音楽療法①		
	13	植木	音楽療法②		
	14	楽器制作、楽器の特性を生かした作品を作る			
15	作品発表、合奏				
使用教材	特になし				
履修上の注意	講義が始まる前に、ピアノと椅子を準備する。				
成績評価の方法	校歌試験・授業態度など総合的に評価する。60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	運動と健康				
履修年次	1年次	履修学期	前期	授業形態	実技
曜日・時限	水曜日・4時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
目的/概要	健康を保持増進するために、身体運動を通して、基礎体力を身につける。 健康を保つためのレクリエーションを理解する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 各スポーツのルールを学び、ルールを守り、フェアプレイができる。 2. チームワークを大切にし、リーダーシップを身につける。 3. 健康を保つためのレクリエーションを学ぶ。 				
授業計画	時期	授業内容			
	1	オリエンテーション、アイスブレイクゲーム			
	2	体づくり運動（バドミントン導入）			
	3	バドミントン審判法、試合			
	4	ニュースポーツ、インディアカ			
	5	体づくり運動（バレーボール導入）、パス、サーブ、スパイク			
	6	バレーボール審判法、試合			
	7	ニュースポーツ、レクリエーション、スポーツ鬼ごっこ			
	8	体づくり運動（卓球導入）			
	9	卓球シングルス・ダブルス試合			
	10	体づくり運動（バスケットボール、パス・シュート）			
	11	バスケットボール試合			
	12	ニュースポーツ ユニホック			
	13	体づくり運動（フットサル、パス・ドリブル）			
	14	ニュースポーツ、レクリエーション			
15	総括・まとめ・筆記試験				
使用教材	講義に合わせた用具 初回到筆記用具を使用				
履修上の注意	動きやすく運動のできる格好で参加する。デニム・スカートでの参加は認めない。 タオルや水分補給のできる準備をする。				
成績評価の方法	筆記試験・授業態度で評価する。 60点以上合格				

5. シラバス

(2) 専門基礎分野

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画 (シラバス)

科目名	人体の構造と機能 I				
履修年次	1年次	履修学期	前期・後期	授業形態	講義
曜日・時限	金曜日・1時限	単位時間数	2単位(45時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	病院勤務経験有		
目的/概要	人体の構造と正常な生体の機能を学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 解剖生理学のための基礎を学ぶ。 2. 栄養と消化・吸収について理解する。 3. 呼吸と血液の働きについて理解する。 4. 血液とその循環について理解する。 5. 体液の調整と尿の生成について理解する。 				
授業計画	時期	授業内容			
	1	解剖生理学序論、体の部位と名称、細胞と組織			
	2	1. 解剖生理学のための基礎知識 1) 形からみた人体 2) 素材からみた人体			
	3	1. 解剖生理学のための基礎知識 3) 機能からみた人体			
	4	2. 栄養の消化と吸収 1) 口・咽頭・食道の構造と機能			
	5	2. 栄養の消化と吸収 1) 口・咽頭・食道の構造と機能			
	6	2. 栄養の消化と吸収 2) 腹部消化管の構造と機能 胃・小腸			
	7	2. 栄養の消化と吸収 2) 腹部消化管の構造と機能 小腸・大腸			
	8	2. 栄養の消化と吸収 3) 膵臓の構造と機能			
	9	2. 栄養の消化と吸収 3) 肝臓の構造と機能			
	10	2. 栄養の消化と吸収 3) 胆のうの構造と機能 4) 腹膜			
	11	3. 呼吸と血液の働き 1) 呼吸器の構造 2) 呼吸			
	12	3. 呼吸と血液の働き 1) 呼吸器の構造 2) 呼吸			
	13	3. 呼吸と血液の働き 2) 呼吸 3) 血液			
	14	3. 呼吸と血液の働き 3) 血液			
	15	筆記試験① (1時間)			
	16	4. 血液の循環とその調節 1) 心臓の構造			
	17	4. 血液の循環とその調節 2) 心臓の機能			
	18	4. 血液の循環とその調節 3) 末梢循環系の構造			
	19	4. 血液の循環とその調節 4) 血液循環の調節			
	20	4. 血液の循環とその調節 4) 血液循環の調節 5) リンパとリンパ管			
	21	5. 体液の調節と尿の生成 1) 腎臓			
	22	5. 体液の調節と尿の生成 2) 腎臓の機能と構造			
23	筆記試験②・まとめ				
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門基礎 解剖生理学 医学書院				
履修上の注意	板書は書き写すこと。				
成績評価の方法	筆記試験①・②の平均点で評価する。 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	人体の構造と機能Ⅱ				
履修年次	1年次	履修学期	前期・後期	授業形態	講義
曜日・時限		単位時間数	2単位(45時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	大学, 医療系専門学校で人体の構造と機能, 解剖学, 生理学の講義担当. 医学系大学院で教員, 分子生物学分野の研究に従事		
目的/概要	人体における構造を理解する解剖学とその機能を理解する生理学について学ぶことを目的とし, その中でも運動器, 脳神経, 特殊感覚, ホルモンの分野について学びます. 人体の構造と機能の知識を応用して, 日常における心身の変化について, 生理学的側面から踏み込んで考えられ, 看護ケアに活かせるよう図っていきます.				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 内臓・生殖器官, 運動器系, 脳神経系, 特殊感覚器系の構造についてその名称と構造, 位置関係を理解する. 2. 内臓・生殖器官, 運動器系, 脳神経系, 特殊感覚器系の生理機能について理解する. 3. 日常における心身状態の変化に伴う生理機能の変化について理解する. 				
授業計画	時期	授業内容			
	1	1. 内臓機能の調節	1) 自律神経による調節		
	2	1. 内臓機能の調節	2) 内分泌系による調節		
	3	1. 内臓機能の調節	2) 内分泌系による調節		
	4	1. 内臓機能の調節	3) 内分泌腺と内分泌細胞	4) ホルモン分泌の調節	
	5	2. 体の支持と運動	1) 骨格系の構造と機能		
	6	2. 体の支持と運動	1) 骨格系の構造と機能		
	7	2. 体の支持と運動	2) 筋肉系の構造と機能		
	8	2. 体の支持と運動	2) 筋肉系の構造と機能		
	9	3. 情報の受容と処理	1) 神経系の構造と機能	2) 脊髄と脳の構造と機能	
	10	3. 情報の受容と処理	3) 脊髄神経と脳神経の構造と機能		
	11	3. 情報の受容と処理	4) 脳の高次機能	5) 運動機能	
	12	筆記試験① (1時間)			
	13	3. 情報の受容と処理	6) 感覚器の構造と機能	目の構造と視覚	
	14	3. 情報の受容と処理	6) 感覚器の構造と機能	耳の構造と聴覚平衡覚	
	15	3. 情報の受容と処理	7) 味覚と嗅覚	8) 痛み	
	16	4. 身体の防御と適応	1) 皮膚の構造と機能		
	17	4. 身体の防御と適応	2) 生体防御機構		
	18	4. 身体の防御と適応	3) 代謝と運動	4) 体温とその調節	
	19	5. 生殖・発生と老化の仕組み	1) 男性生殖器官系		
	20	5. 生殖・発生と老化の仕組み	2) 女性生殖器官系		
	21	5. 生殖・発生と老化の仕組み	3) 受精と胎児の発生		
	22	5. 生殖・発生と老化の仕組み	4) 成長と老化		
	23	筆記試験②・まとめ			
使用教材	テキスト: 系統看護学講座 専門基礎 解剖生理学 医学書院				
履修上の注意	なし				
成績評価の方法	筆記試験①・②の平均点で評価する。 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	生化学				
履修年次	1年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	火曜日・2時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
目的／概要	人体の生命現象を科学的に理解する。				
到達目標	栄養や薬品の作用機構の理解へ向けた必要な知識の習得する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	生化学の基礎、代謝と酵素			
	2	糖質、糖質代謝			
	3	脂質、脂質代謝			
	4	タンパク質、タンパク質代謝			
	5	ビタミン、ホルモン			
	6	核酸と遺伝子、DNAの転写・翻訳			
	7	がん			
	8	筆記試験（1時間）			
使用教材	テキスト：系統看護学講座 生化学				
履修上の注意	高校教育課程における生物・化学の知識があることが望ましい。				
成績評価の方法	筆記試験の点数で評価する。60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	栄養と食事療法				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義/実習
曜日・時限	金曜日・4時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	管理栄養士	実務経験	病院勤務経験有		
目的/概要	人間にとっての栄養の意義を理解し、食事療法の実際を理解する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間にとっての栄養・食事療法の意義を理解する。 2. ライフステージ・健康状態に応じた栄養食事療法の実際を学ぶ。 				
授業計画	時期	授業内容			
	1	栄養・食事療法とは 成人食の分類と特徴			
	2	栄養補給法・栄養アセスメントの基本 症状別栄養食事療法			
	3	呼吸器疾患の栄養食事療法 循環器疾患の栄養食事療法			
	4	消化器疾患の栄養食事療法			
	5	腎・泌尿器疾患の栄養食事療法			
	6	栄養代謝性疾患の栄養食事療法			
	7	血液、熱傷・褥瘡、精神・神経系疾患の栄養食事療法			
	8	術前・術後の栄養管理			
	9	がんの栄養食事療法			
	10	ライフステージ別の栄養食事療法 医療保険制度・介護保険制度と食事			
	11	食品成分表を用いた栄養計算 調理実習（自由献立）の献立作成（1時間）			
	12	調理実習（治療食）			
	13				
	14	調理実習（自由献立）			
	15				
16	筆記試験（1時間）				
使用教材	テキスト：系統看護学講座 別巻 栄養食事療法 医学書院 食品成分表 2025 女子栄養大学 糖尿病食事療法のための食品交換表 文光堂 糖尿病の手引き 南江堂				
履修上の注意	調理実習は、各自エプロンを持参する。				
成績評価の方法	筆記試験で評価する。 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	微生物学				
履修年次	1年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	木曜日 3・4時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
目的／概要	感染症の原因となる病原微生物について学ぶ。				
到達目標	病原微生物の種類・特徴、消毒法、検査法を学び生体に及ぼす影響を理解する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	微生物学 総論 ①			
	2	〃 総論 ②			
	3	細菌学総論			
	4	細菌学各論 ①			
	5	細菌学各論 ②			
	6	細菌学各論 ③			
	7	細菌学各論 ④			
	8	筆記試験（1時間）			
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門基礎 微生物学				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験で評価する。60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	免疫と感染症				
履修年次	1年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	木曜日・3時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
	非常勤講師		なし		
目的／概要	感染に対する生体防御機構を学ぶ				
到達目標	ウイルス感染について理解する 免疫及び免疫獲得の仕組みを理解する				
授業計画	時期	授業内容			
	1 佐山	その他の感染症			
	2 石井	ウイルス学総論			
	3 石井	ウイルス学各論 ①			
	4 石井	ウイルス学各論 ②			
	5 石井	ウイルス学各論 ③			
	6 石井	免疫学 ①			
	7 石井	免疫学 ②			
	8 佐山	筆記試験（1時間）			
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門基礎 微生物学				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験で評価する。60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	薬理学				
履修年次	1年次	履修学期	前期・後期	授業形態	講義
曜日・時限	水曜日・1時限	単位時間数	2単位(45時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	調剤薬局勤務経験有		
	非常勤講師		なし		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
	薬剤部長		病院勤務経験有		
目的/概要	薬物の特徴、作用、副作用、取り扱いや管理について学ぶ。				
到達目標	薬物の特徴、作用機序、薬物動態、副作用および取り扱いや管理についての知識を習得する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1 根本	第1章 薬理学総論			
	2 根本	第2章 薬理学の基礎知識			
	3 根本	〃			
	4 根本	第7章 末梢での神経活動に作用する薬物			
	5 根本	〃			
	6 根本	第8章 中枢神経系に作用する薬物			
	7 根本	〃			
	8 根本	第10章 呼吸器・消化器・生殖器系に作用する薬物			
	9 根本	〃			
	10 根本	第5章 免疫治療薬			
	11 根本	第6章 抗アレルギー薬・抗炎症薬			
	12 根本	〃			
	13 渡部	第3章 抗感染症薬			
	14 渡部	第4章 抗がん薬			
	15 根本	第9章 心臓・血管系に作用する薬物			
	16 根本	〃			
	17 根本	〃			
	18 渡部	第11章 物質代謝に作用する薬物			
	19 渡部	〃			
	20 鈴木	第12章 皮膚科用薬・眼科用薬第、13章 救急の際に使用される薬物			
	21 鈴木	第14章 漢方薬、第15章 消毒薬			
	22 根本	筆記試験（1時間）			
	23 外岡	薬剤部見学			
使用教材	テキスト：系統看護学講座 薬理学				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験（講師合同）で評価する。 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	病理学				
履修年次	1年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	火曜日・1時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
目的/概要	疾病の成り立ちと病態の特徴を理解する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 疾病の発生機序、進行過程、終末像を理解する。 2. 疾病全体の概説を学び、看護師として必要な医学・医療に関する知識を習得する。 				
授業計画	時期	授業内容			
	1	田中	総論：病理学・病理検査とは		
	2	田中	総論：細胞・組織の障害と修復		
	3	高木	総論：循環障害		
	4	田中	総論：炎症と免疫、アレルギー		
	5	高木	総論：腫瘍①		
	6	田中	総論：腫瘍②		
	7	高木	総論：先天異常と遺伝子異常		
	8	田中	筆記試験① 解説		
	9	高木	各論：循環器疾患		
	10	高木	各論：呼吸器疾患		
	11	高木	各論：消化器疾患①		
	12	高木	各論：消化器疾患② 泌尿器・生殖器疾患		
	13	田中	各論：内分泌疾患		
	14	高木	各論：脳・神経系、運動器疾患		
15	田中	筆記試験② 解説			
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門基礎分野 病理学 医学書院 その他、補助資料を配布する。				
履修上の注意	指定教科書を持参すること。毎回の授業に関する内容をノート等にまとめること。				
成績評価の方法	筆記試験①・②により評価する。 60点以上合格				

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅰ				
履修年次	1年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	病院勤務経験有		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
目的/概要	呼吸器系、循環器系、血液・造血管系の疾病の成り立ちと回復の促進について学ぶ。				
到達目標	呼吸器系疾患、循環器疾患、血液・造血管系疾患の病態生理と症状、検査、治療について理解し、看護に必要な知識を習得する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1 榊原	<呼吸器> 呼吸器の構造と機能、呼吸器系の特徴的な症状と病態生理①			
	2 榊原	呼吸器系の特徴的な症状と病態生理②、呼吸器の検査と治療①			
	3 榊原	呼吸器系の検査と治療②			
	4 長澤	呼吸器系の主な疾患：気管支喘息・肺血栓塞栓症・呼吸不全・肺がん			
	5 長澤	呼吸器系の主な疾患：感冒・気管支炎・肺炎・肺結核・インフルエンザ・コロナ？			
	6	筆記試験①（1時間）			
	田中	<循環器>			
	7	心臓の構造と機能、血管の構造と機能			
	8	循環器系の特徴的な症状と病態生理			
	9	循環器系の検査と治療			
	10	循環器系の主な疾患：虚血性心疾患、心不全、不整脈、弁膜症、心膜炎など			
	11	循環器系の主な疾患：心筋疾患、動脈系疾患、静脈系疾患、リンパ系疾患など			
	12 *金野	循環器系の主な疾患：血圧異常			
	13	筆記試験②（1時間）			
	齋藤	<血液・造血管>			
	14	血液の生理と造血の仕組み、血液系の検査・診断と症状・病態生理			
15	赤血球系の異常、出血性疾患				
16	白血球系の異常、造血腫瘍				
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 呼吸器 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 循環器 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 血液・造血管 医学書院				
履修上の注意	呼吸器系、循環器系、血液・造血管系の構造と機能を復習して講義に臨むこと。				
成績評価の方法	*筆記試験①100点満点 60点未満の場合は再試験を行う。 60点以上合格 *筆記試験②100点満点 60点未満の場合は再試験を行う。 60点以上合格 * <血液・造血管>は講義時間の2/3以上の出席で合格とする。 欠席が90分を超えた場合はレポートを提出する。 *筆記試験①・②の平均点で評価する <血液・造血管>を欠席した場合は、レポートを提出していること。 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅱ				
履修年次	1年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	病院勤務経験有		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
	校長		病院勤務経験有		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
目的/概要	消化器系、内分泌・代謝系の疾病の成り立ちと回復について学び看護に活かす。				
到達目標	消化器・内分泌系疾患の病態生理と症状、検査、治療について理解し、看護に必要な知識を習得する。				
授業計画	時期	授業内容			
		<消化器>			
	1 山川	肝臓・胆道・膵臓 構造と機能・検査			
	2 山川	〃 肝炎・肝硬変など			
	3 山川	〃 胆道・膵臓疾患など			
	4 白木	腸および腹膜疾患①			
	5 白木	腸および腹膜疾患②			
	6 近藤	食道疾患			
	7 近藤	胃・十二指腸疾患			
	8 白木	筆記試験①(1時間)			
		<内分泌・代謝>			
	1 神田	内分泌・代謝器官の構造と機能			
	2 徳村	内分泌疾患の症状と病態生理			
	3 神田	内分泌系の主な疾患：視床下部・下垂体疾患			
	4 神田	内分泌系の主な疾患：甲状腺疾患・副甲状腺疾患			
	5 熊谷	代謝系の主な疾患：糖尿病			
	6 熊谷	代謝系の主な疾患：糖尿病の合併症			
	7 熊谷	代謝系の主な疾患：脂質異常症、メタボリックシンドロームなど			
	8 熊谷・神田	筆記試験②(1時間)			
	使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 消化器 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 内分泌・代謝			
履修上の注意	消化器系・内分泌器系の構造と機能を復習して講義に臨むこと。				
成績評価の方法	*筆記試験①100点満点 60点未満の場合は再試験を行う。60点以上合格 *筆記試験②100点満点 60点未満の場合は再試験を行う。60点以上合格 *筆記試験①・②の平均点で評価する。 60点以上合格				

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅲ				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	病院勤務経験有		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
目的/概要	脳・神経系および運動器系、皮膚・眼疾患の疾病の成り立ちと回復の促進について学び看護に活かす。				
到達目標	脳・神経系及び運動器、皮膚・眼疾患の病態生理と症状、検査、治療について理解し、看護に必要な知識を習得する。				
授業計画	時期	授業内容			
	*原田	<脳・神経>			
	1	脳・神経系の構造と機能			
	2	脳・神経系の症状と病態生理：意識障害、高次脳機能障害、運動機能障害、感覚機能障害など			
	3	脳神経系の検査・診断・治療・処置			
	4	脳神経系の主な疾患：脳疾患、脊髄疾患、末梢神経障害、パーキンソン病など			
	5	脳神経系の主な疾患：脳神経の感染症、中毒、てんかん、認知症など			
	6	筆記試験①（1時間）			
	*国井	<運動器>			
	7	運動器の構造と機能 症状と病態生理：疼痛・形態異常・関節運動の異常・神経の障害			
	8	診断・検査・治療・処置			
	9	運動器系の主な疾患：骨折・脱臼・捻挫			
	10	運動器系の主な疾患：神経・筋・腱・靭帯の損傷			
	11	運動器系の主な疾患：先天性疾患、骨・関節の疾患、骨腫瘍等			
	12	筆記試験②（1時間）			
	皮膚科医師	<皮膚>			
13	皮膚の構造と機能、症状と病態生理				
14	皮膚の主な疾患：表在性皮膚疾患、血管系の皮膚疾患、褥瘡ほか				
*植松	<眼>				
15	眼の構造と機能、症状と病態生理				
16	眼科の主な疾患：白内障・緑内障ほか				
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 脳・神経 医学書院 ナーシング・グラフィカEX 疾患と看護⑦ 運動器 メディカ出版 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 皮膚 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 眼 医学書院				
履修上の注意	脳・神経系、運動器系、皮膚・眼系の構造と機能を復習して講義に臨むこと。				
成績評価の方法	* 筆記試験①100点満点 60点未満の場合は再試験を行う。 60点以上合格 * 筆記試験②100点満点 60点未満の場合は再試験を行う。 60点以上合格 * <皮膚><眼>は講義時間の2/3以上の出席で合格とする。 欠席が60分を超えた場合はレポートを提出する。 * 筆記試験①・②の平均点で評価する <皮膚><眼>の講義を欠席した場合は、レポートを提出していること。 60点以上合格				

科目名	疾病の成り立ちと回復の促進Ⅳ				
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	病院勤務経験有		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
目的/概要	腎・泌尿器、女性生殖器、アレルギー・膠原病、耳鼻咽喉疾患の成り立ちと回復の促進について学び看護に活かす。				
到達目標	腎・泌尿器、女性生殖器、アレルギー・膠原病、耳鼻咽喉疾患の病態生理と症状、検査、治療について理解し、看護に必要な知識を習得する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	櫻田	<腎・泌尿器> 腎・泌尿器系の症状と病態生理：尿の異常・排尿に関連した症状・浮腫・脱水など		
	2		腎・泌尿器系の代表的な検査と治療・処置・主な疾患：腎不全、ネフローゼ、尿路・性器の感染症等		
	3		腎・泌尿器系の主な疾患：尿路の通過障害と機能障害、尿路・性器の腫瘍		
	4	阿部	<女性生殖器> 女性生殖器の症状と病態生理：ショック、出血、帯下、自律神経症状・不定愁訴		
	5		診察・検査と治療・処置		
	6		女性生殖器系の主な疾患：子宮の疾患、卵巣の疾患、不妊症、感染症		
	7	千年	女性生殖器系の主な疾患：乳房の疾患		
	8	阿部・櫻田	筆記試験①(1時間)		
	9	畠山	<アレルギー・膠原病> 免疫の仕組みとアレルギー		
	10		アレルギーの症状：鼻炎・結膜炎、食物性アレルギー、アナフィラキシー		
	11		自己免疫疾患とその機序、症状と病態生理		
	12		自己免疫疾患：関節リウマチ・全身性エリテマトーデス・ベーチェット病など		
	13		筆記試験②(1時間)		
	14	* 渡邊	<耳鼻咽喉> 耳鼻咽喉の構造と機能、症状とその病態生理		
	15		耳鼻の主な疾患：外耳疾患、内耳疾患、鼻疾患		
16		口腔・咽喉の主な科疾：口腔疾患、咽頭疾患、喉頭疾患			
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 腎・泌尿器 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 女性生殖器 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ アレルギー・膠原病 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 耳鼻咽喉 医学書院				
履修上の注意	腎・泌尿器系、女性生殖器系、アレルギー・膠原病、耳鼻咽喉の構造と機能を復習して講義に臨むこと。				
成績評価の方法	*筆記試験①100点満点 腎・泌尿器：50点 30点以上合格 30点に満たない場合は再試験を行う。 女性生殖器：50点 30点以上合格 30点に満たない場合は再試験を行う。 60点以上合格 *筆記試験②100点満点 60点未満の場合は再試験を行う。 60点以上合格 * <耳鼻咽喉>は講義時間の2/3以上の出席で合格とする。 欠席が90分を超えた場合はレポートを提出する。 *筆記試験①・②の平均点で評価する <耳鼻咽喉>の講義を欠席した場合は、レポートを提出していること。 60点以上合格				

科目名	治療論				
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	病院勤務経験有		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
目的/概要	疾患の主な治療法について学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 麻酔や麻酔による生体反応を理解する。 2. 手術中の安全管理について理解する。 3. 手術療法や手術侵襲について理解する。 4. 救急蘇生法について理解する。 5. 化学療法について理解する。 6. 放射線療法について理解する。 7. 緩和ケアについて理解する。 				
授業計画	時期	授業内容			
		<麻酔・救急法>			
	1 小野	1. 麻酔法①			
	2 小野	麻酔法②			
	3 山本	2. 手術期の呼吸管理			
	4 山本	3. 手術期の体液管理 輸液・輸血療法			
	5 赤田	4. 救急蘇生法 【演習含む】			
	6 赤田	5. 救急蘇生法 【演習含む】 *繁澤			
	7 山本	筆記試験①（麻酔）（1時間）			
		<手術療法>			
	8 佐藤	1. 手術療法と手術侵襲			
	9 佐藤	2. 手術療法 各論 消化器：食道・胃疾患			
	10 齋藤	3. // 腸・腹膜疾患			
	11 齋藤	4. // 肝臓・胆道・膵臓疾患、門脈・脾臓疾患			
	12 保坂	5. // 呼吸器			
	13 丹田	がんの診断・治療 化学療法			
	14 田邊	放射線療法			
15 丹田	緩和ケア				
16 齋藤	筆記試験②（手術療法）（1時間）				
使用教材	テキスト：系統看護学講座 別巻 臨床外科総論 医学書院 // 臨床外科看護各論 医学書院 // 専門分野II 消化器 医学書院 // 別巻 がん看護学 医学書院				
履修上の注意	テキスト「周手術期看護 安全・安楽な看護の実践」に付属しているDVDを視聴し、授業に出席する。				
成績評価の方法	*筆記試験①100点満点 60点未満の場合は再試験を行う。 60点以上合格 *筆記試験②100点満点 60点未満の場合は再試験を行う。 60点以上合格 *筆記試験①・②の平均点で評価する。 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	公衆衛生学				
履修年次	3年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	月曜日・1・2時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
目的／概要	公衆衛生に関する統計、健康の保持増進、疾病予防のための保健活動を学ぶ。				
到達目標	公衆衛生に関する統計、健康の保持増進、疾病予防のための保健活動（1次～3次予防）の知識を修得する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	公衆衛生と疫学・統計 公衆衛生と健康の概念			
	2	疫学			
	3	保健統計①（人口統計）			
	4	保健統計②（健康の指標）			
	5 尾形	社会保障、難病対策 保健と福祉（保健行政を含む）			
	6 尾形	母子保健、高齢者保健、産業保健			
	7	地域保健、保健所・保健センター			
	8	成人保健と健康増進（栄養）			
	9	食品保健			
	10	感染症対策			
	11 村上	歯科保健			
	12 村上	学校保健、精神・障害者保健			
	13	環境保健			
	14	国際保健			
15	筆記試験（1時間）まとめ（1時間）				
使用教材	テキスト：公衆衛生がみえる2024-2025（メディックメディア） 国民衛生の動向 2024/2025年（一般財団法人厚生労働統計協会）				
履修上の注意	全て、教科書の内容と追加資料を中心とした講義形式の授業				
成績評価の方法	筆記試験・授業態度などで総合評価する。 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	人間発達学				
履修年次	1年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	火曜日・1時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	病院勤務経験有		
目的／概要	人間を生涯発達の視点でとらえ、発達各期における看護援助を理解するための基礎的知識を学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 人間発達に関する諸理論について理解する。 2. 人間の心の発達、身体の発達を理解する。 3. 人間のライフサイクルと発達課題を理解する。 				
授業計画	時期	授業内容			
	1	人間と発達 発達理論と歴史			
	2	現代の発達理論 エリクソン、ピアジェ、ボウルビー、レビンソン、ハヴィガースト			
	3	ライフサイクルと発達課題	1) 胎児期の心と身体 2) 乳幼児期の心と身体		
	4	〃	5) 学童期の心と身体 6) 思春期の心と身体		
	5	〃	7) 青年期の心と身体		
	6	〃	8) 成人期の心と身体		
	7	〃	9) 老年期の心と身体		
	8	筆記試験（1時間）			
使用教材	テキスト：看護のための人間発達学 医学書院				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験で評価する。 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画 (シラバス)

科目名	家族関係論				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	木曜日・4時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	病院勤務経験有		
目的/概要	家族が個人の発達に及ぼす影響、健康増進などの家族機能について学び、看護に生かすことができる。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会の最も基本的な単位である家族・家族関係について理解する。 2. 様々な発達段階・健康レベルにある家族について理解する。 				
授業計画	時期	授業内容			
	1	家族看護とは 家族の機能 家族の構造			
	2	家族とは 家族と社会 現代の家族とその課題			
	3	家族看護を支える理論			
	4	家族アセスメントモデル			
	5	課題を抱える家族関係① 急性期・終末期			
	6	課題を抱える家族関係② 精神疾患・高齢者			
	7	課題を抱える家族関係③ 周産期			
	8	筆記試験 (1時間)			
使用教材	テキスト：系統看護学講座 別巻 家族看護学 医学書院				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験で評価する。 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	医療概論				
履修年次	1年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	水曜日・3時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	校長	実務経験	病院勤務経験有		
目的／概要	医療を学ぶための基礎を学び、医療従事者としての心構えを身につける。				
到達目標	医療について学び、看護師の役割を理解する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	医学の歴史			
	2	保健・医療・介護を取り巻く社会環境の変化			
	3	日本の医療システム			
	4	医の倫理・医療安全			
	5	最先端医療・医療情報			
	6	医療経済学			
	7	医療政策			
	8	筆記試験（1時間）			
使用教材	テキスト：系統看護学講座別巻 医療概論				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験で評価する。 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	看護と法律				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	病院勤務経験 有		
目的/概要	看護の実践を支える法的側面について学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健、医療、介護に関連する法令を理解する。 2. 看護に必要な法令を理解する。 				
授業計画	時期	授業内容			
	1	法の概念、医事法1（医療法その1）			
	2	医事法2（医療法その2、医療介護の提供体制）			
	3	看護法（保健師助産師看護師法、人材確保法、医療過誤）			
	4	医療に関する資格（医師法等）、社会保険法1（医療）			
	5	社会保険法2（介護・雇用・労災・年金）			
	6	労働法と社会基盤整備、母性保護に関する法令			
	7	薬務法、個人情報の保護と法令			
	8	筆記試験（1時間）			
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門基礎分野 看護関係法令（医学書院） 参考書：公衆衛生がみえる2024-2025（メディックメディア）				
履修上の注意	法令は、他の履修科目で学ぶ様々な制度の根拠となるものです。加えて、法令や制度は、国家試験にも頻出するので、講義後は復習をしてください。				
成績評価の方法	筆記試験・授業態度などで総合評価する。60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	社会保障				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	火曜日・2時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
目的/概要	わが国の社会保障を取り巻く環境と、その制度や法律と活用について学ぶ。				
到達目標	社会保障の目的や機能、歴史を理解し、対象・領域と制度・サービスについての知識を深める。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	社会保障を学ぶ意義、社会保障について、概念整理、社会保障関係費を中心に、わが国の財政について考える、社会保障制度の変遷			
	2	わが国の社会保障を取り巻く環境①（人口の変化、平均寿命、出生率、家族・個人の変化など）			
	3	わが国の社会保障を取り巻く環境②（経済状況、就業構造、雇用情勢、地域構造、国民生活構造の変化など）			
	4	社会保障制度改革、社会保障と税の一体改革、少子化対策と地方創生など			
	5	保健医療の動向、生活習慣病対策、地域保健対策の展開、医療保障、高齢者医療制度、国民医療費			
	6	所得保障、年金保険制度、社会手当、労働保険制度、介護保障など			
	7	公的扶助、生活保護、生活保護法改正法、生活困窮者自立支援法など、まとめ			
	8	筆記試験（1時間）			
使用教材	テキスト：系統看護学講座 社会保障・社会福祉（医学書院）、レジュメを配布				
履修上の注意	積極性を持って授業に取り組むこと。				
成績評価の方法	筆記試験で評価する。60点以上合格。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	社会福祉				
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	火曜日・2時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
目的／概要	社会福祉の動向と社会福祉制度と地域での実践について学ぶ。				
到達目標	社会福祉の目的概念や実態概念、求められているものを理解し、対象・領域と制度・サービスについての知識を深める				
授業計画	時期	授業内容			
	1	社会福祉を学ぶ意義、社会福祉とは、目的概念、実態概念、今求められているもの、社会事業から社会福祉事業（社会福祉）へ			
	2	社会福祉の法制度、歴史的展開、社会福祉法の成立に向けて、福祉三法、六法、関係八法など			
	3	社会福祉の組織と管理、実施体制、従事者と担い手など			
	4	高齢者福祉、高齢者福祉の施策、在宅事業、健康増進と社会参加、介護について（介護保険と高齢者）認知症高齢者支援など			
	5	障害者福祉、定義と実践、障害者施策の変遷、障害者総合支援法体系、身体、知的、精神障害者の福祉、発達障害者支援			
	6	児童家庭福祉、定義と実践、少子化対策、子ども・子育て施策、児童虐待、DV対策、少年犯罪など			
	7	地域福祉、社会福祉の実践と医療・看護、社会福祉援助技術、援助の課題、医療との連携の重要性、地域保険サービスと地域福祉、まとめ			
	8	筆記試験（1時間）			
使用教材	テキスト：系統看護学講座 社会保障・社会福祉（医学書院）、レジュメを配布				
履修上の注意	積極性を持って授業に取り組むこと。				
成績評価の方法	筆記試験で評価する。60点以上合格。				

5. シラバス

(3) 専門分野

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画 (シラバス)

科目名	看護学概論				
履修年次	1年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	副校長	実務経験	病院勤務経験有		
目的/概要	看護の概念を学び、社会に求められる看護の役割を理解する。				
到達目標	1.看護の基本的概念(人間、健康、環境、看護)を基軸として看護実践の基盤となるものを理解する。 2.看護の対象と看護の役割、看護ケアの本質を理解する。 3.看護における倫理的判断の基本を理解する。 4.看護提供の場、看護マネジメントとサービスの質保証について理解する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	看護の本質： 看護の変遷・看護の定義と主要概念			
	2	看護の本質： 看護ケア 看護の役割と機能			
	3	看護の役割と機能の拡大 看護の継続性と連携			
	4	看護の対象： 人間の「こころ」と「からだ」			
	5	看護の対象： 人間の成長発達 ライフサイクル 人と暮らし			
	6	健康と看護： 健康のとらえ方 健康の関連要因			
	7	健康と看護： 国民の健康の全体像			
	8	職業としての看護： 職業としての歴史の変遷			
	9	職業としての看護： 職業養成制度とキャリア 就業状況			
	10	看護提供の仕組み： 看護サービスの場			
	11	看護提供の仕組み： 法・制度			
	12	看護の安全管理・感染管理			
	13	看護と倫理： 患者の権利と擁護 看護実践と倫理			
	14	看護の活動領域： 看護の国際化 災害看護			
15	筆記試験・まとめ				
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学1 看護学概論 医学書院 参考文献：フローレンス・ナイチンゲール 「看護覚え書」(現代社) ヴァージニア・ヘダーソン「看護の基本となるもの」(日本看護協会出版会) 「よくわかる看護者の倫理綱領」(照林社)				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験で評価する。 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	フィジカルアセスメント				
履修年次	1年次	履修学期	前期・後期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時間	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
目的/概要	フィジカルアセスメントの意義と目的を理解し、必要とされる技術を学ぶ				
到達目標	看護実践に必要な観察及び健康状態を評価するための技術を習得する				
授業計画	時期	授業内容			
	1	ヘルスアセスメントの意義と目的 健康歴とセルフケア能力のアセスメント			
	2	フィジカルアセスメントに必要な技術			
	3	バイタルサインの意義 体温の測定方法とアセスメント			
	4	脈拍の測定方法とアセスメント			
	5	呼吸の測定方法とアセスメント			
	6	血圧の測定方法とアセスメント			
	7	血圧測定の実際			
	8	体温・脈拍・呼吸・血圧測定			
	9	技術試験（バイタルサイン測定）			
	10	系統別アセスメントの実際：呼吸器系のアセスメント			
	11	系統別アセスメントの実際：循環器系のアセスメント			
	12	系統別アセスメントの実際：腹部のアセスメント			
	13	系統別アセスメントの実際：筋・骨格系のアセスメント、計測			
	14	系統別アセスメントの実際：脳・神経系のアセスメント、意識レベルの観察			
15	筆記試験 系統別アセスメントの実際まとめ				
使用教材	系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学2 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 フィジカルアセスメントがみえる メディックメディア その他、参考図書・参考文献については、授業の中で提示していく。				
履修上の注意	演習の時間が限られているため、復習・予習を行い、空き時間等に技術練習を繰り返し行う。				
成績評価の方法	筆記試験・技術試験（バイタルサイン測定）・授業態度・課題の取り組み状況から総合的に評価する。 60点以上を合格とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	コミュニケーション技術				
履修年次	1年次	履修学期	前期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	火曜日・3時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
目的/概要	看護におけるコミュニケーションの意義を基に、対象を中心とした看護を提供するための人間関係を形成するコミュニケーション技術を学ぶ				
到達目標	1.コミュニケーションの特徴と、医療におけるコミュニケーションの重要性を理解する 2.コミュニケーションの構成要素と成立過程を理解し、ミスコミュニケーションを避け、適切なメッセージを伝える方法を学ぶ 3.コミュニケーションの基本的な方法について学び、それを実践する 4.コミュニケーション障害がある人の特徴と効果的な対応を学ぶ				
授業計画	時期	授業内容			
	1	看護技術を学ぶにあたって/コミュニケーションの意義と目的			
	2	コミュニケーションの構成要素と成立過程			
	3	関係構築のためのコミュニケーションの基本			
	4	効果的なコミュニケーションの実際			
	5	コミュニケーション障害への対応			
	6	プロセスレコードとは			
	7	プロセスレコードの実際（演習）			
	8	筆記試験（1時間）			
使用教材	1.系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学2 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 2.看護がみえる vol.1基礎看護技術 メディックメディア				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験・グループワーク・課題提出物・演習および授業態度を総合的に評価し、60点以上を合格とする。課題は提出期限内に提出したものを評価対象とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	感染防止の技術				
履修年次	1年次	履修学期	前期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1 単位(1 5 時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
目的/概要	感染成立の条件および院内感染防止の基本から、感染防止のための技術を学ぶ				
到達目標	1.感染成立の条件および院内感染防止の基本を知り、看護師が感染防止のための実践を行うことの重要性を理解する 2.標準予防策を学び、正しく実践できるようにする 3.感染経路別予防策を学び、適切に実践できるようにする 4.医療器具の管理および環境整備の意義や重要性を理解する。洗浄・消毒・滅菌の実際、感染性廃棄物の取り扱いについて学び、正しく実践できるようにする 5.無菌操作について学び、正しく実践できるようにする				
授業計画	時期	授業内容			
	1	感染防止の技術 1)感染とその予防の基礎知識 2)標準予防策			
	2	標準予防策 手指衛生の実際【演習】			
	3	3)感染経路別予防策 4)感染性廃棄物の取り扱い			
	4	5)洗浄・消毒・滅菌 6)無菌操作			
	5	感染防止の技術 無菌操作【演習】 滅菌物品の取り扱い			
	6	無菌操作【演習】 滅菌手袋・滅菌ガウンの着用			
	7	7)針刺し防止策 8)医療施設における感染管理			
	8	筆記試験(1時間)			
使用教材	1.系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学Ⅱ 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 2.ビジュアル 臨床看護技術ガイド 照林社 3.看護がみえる vol.1 基礎看護技術 メディックメディア 4.医療安全ワークブック 医学書院				
履修上の注意	演習はユニフォーム着用。（実習時と同様に身だしなみを整える） 身だしなみが整っていない場合は、整えてから出席してもらうことがあります。				
成績評価の方法	筆記試験、演習態度、授業態度も評価に含み、60点以上を合格とする。 課題は提出期限内に提出したものを評価対象とする。				

科目名	日常生活援助技術Ⅰ				
履修年次	1年次	履修学期	前期・後期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	2単位(4.5時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
目的/概要	環境、食事、清潔・衣生活に関する日常生活での看護援助を学ぶ				
到達目標	1.環境に関する基礎知識、看護技術を習得する 2.病床環境を整えるための知識、援助技術を習得する 3.食事援助の基礎知識を理解する 4.食事介助・摂食・嚥下訓練の具体的方法を理解する 5.非経口的栄養摂取の援助の概略について理解し、経鼻経管栄養法の具体的な方法を習得する 6.皮膚・粘膜の構造と機能を知り、生活援助の効果と全身への影響を理解する 7.清潔援助の方法選択の視点を理解し、それぞれの清潔援助の基礎知識と実際を習得する 8.病床での衣生活の基礎知識を理解し、援助の実際と寝衣交換の手順を習得する				
授業計画	時期	授業内容			
	1 橋本	療養生活の環境 病室の環境のアセスメントと調整 病棟の構造と病室・病床の種類			
	2	安全・安楽な病床・環境整備 ベッドメイキングの目的留意点・ベッドを知る			
	3	ベッドメイキングの実際（クローズドベッド）2人で実施する方法（演習）			
	4	ベッドメイキングの実際（オープンベッド）1人で実施する方法（演習）			
	5	リネン交換の目的留意点 リネン交換の実際（演習・講義）			
	6	筆記試験①(1時間)			
	7	ベッドメイキング技術試験			
	8 真壁	食事援助の基礎知識 食事とは			
	9	GW「自分の食生活を振り返る」/食欲、摂食・嚥下アセスメント			
	10	食事摂取の介助、摂食・嚥下訓練			
	11	演習 食事介助の演習			
	12	非経口的栄養摂取について			
	13	演習 経鼻経管栄養チューブ（固定、滴下計算、観察）			
	14	筆記試験②(1時間)			
	15 寺島	清潔の援助の基礎知識と病床での衣生活の援助			
	16	臥床患者の手浴の演習（ベッド上座位）			
	17	臥床患者の足浴の演習（ベッド上仰臥位）			
	18	病床での衣生活：寝衣交換の演習（ベッド上仰臥位）			
	19	臥床患者の全身清拭の演習（ベッド上仰臥位）			
	20	洗髪の実施方法の演習（車椅子で前屈位・ベッド上仰臥位）			
	21	洗髪の実施方法の演習（車椅子で前屈位・ベッド上仰臥位）			
	22	洗髪の実施方法の演習（車椅子で前屈位・ベッド上仰臥位）			
	23	入浴・シャワー浴の意義、陰部洗浄の演習（モデル人形）			
24	筆記試験③(1時間)				
使用教材	1.系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学3 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 2.ピジュアル 臨床看護技術ガイド 照林社 3.看護がみえる vol.1基礎看護技術 メディックメディア				
履修上の注意	教科書以外の参考文献については、授業時に指示する。				
成績評価の方法	環境 ：橋本	筆記試験①60点、ベッドメイキングの技術試験40点の合計100点で評価する。 60点未満の場合は再試験を行う。 60点以上合格			
	食事 ：真壁	筆記試験②100点、演習態度、授業態度、課題提出物を評価に含む。 課題は提出期限内に提出したものを評価対象とする。 60点未満の場合は再試験を行う。 60点以上合格			
	清潔 ：寺島	筆記試験③70点、演習提出物等30点の合計100点で評価する。 課題は提出期限内に提出したものを評価対象とする。 60点未満の場合は再試験を行う。 60点以上合格			
	筆記試験①・②・③の平均点で評価する。 60点以上合格				

科目名	日常生活援助技術Ⅱ				
履修年次	1年次	履修学期	前期・後期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	2単位(45時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
目的/概要	活動・休息、安楽、排泄に関する日常生活での看護技術を学ぶ				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.姿勢の基礎知識、ボディメカニクスの原理を理解する 2.さまざまな体位とその目的を理解し、体位変換の援助を理解する 3.車椅子、ストレッチャーについて理解し、移乗の援助と移送の方法を理解する 4.電法の種類と電法が身体に及ぼす影響を理解し、温電法・冷電法の実際を理解する 5.睡眠と休息の意義を理解し、睡眠を促す援助方法を理解する 6.自然排尿および自然排便の基礎知識を理解し、援助方法を習得する 7.排便を促す援助法について学び、援助技術を習得する 8.導尿の必要な患者への援助について学び、援助技術を習得する 				
授業計画	時期	授業内容			
	1 真壁	基本的活動の基礎知識 よい姿勢/ボディメカニクス			
	2	演習と講義 移動(体位変換)			
	3	演習と講義 体位保持(ポジショニング)			
	4	演習と講義 移動(移乗・移送) 車椅子・ストレッチャー			
	5				
	6	演習と講義 移動(歩行・杖歩行・歩行器の介助) 杖・歩行器			
	7				
	8	演習と講義 電法(温電法・冷電法)			
	9	身体ケアを通じてもたらされる安楽/睡眠と休息の援助に必要な基礎知識			
	10	筆記試験①(1時間)			
	11 川村	排泄の意義、排尿・排便のメカニズムと観察・アセスメント			
	12	排尿・排便を促す援助の基礎知識(トイレでの排泄、ポータブルトイレ、尿器・差込便器)			
	13	排尿・排便を促す援助(演習:トイレ、ポータブルトイレ、尿器、便器)			
	14	オムツを用いた排泄介助			
	15	浣腸・摘便の援助の基礎知識			
	16	浣腸(演習)			
	17	持続的導尿の基礎知識①(1時間)			
	18	持続的導尿の基礎知識②			
	19	持続的導尿(演習)			
	20				
	21	一時的導尿の基礎知識			
	22	一時的導尿(演習)			
	23				
24	筆記試験②(1時間)				
使用教材	<ol style="list-style-type: none"> 1.任和子ほか:系統看護学講座 専門分野Ⅰ基礎看護技術Ⅱ基礎看護学③,医学書院 2.岡庭豊:看護がみえる vol.1 基礎看護技術,第1版,メディックメディア 3.岡庭豊:看護がみえる vol.2 臨床看護技術,第1版,メディックメディア 4.岡庭豊:フィジカルアセスメントがみえる,第1版,メディックメディア 				
履修上の注意	演習時は実習に準ずる服装・準備をしてください。なお、排泄の演習時に必要な準備物は演習前に提示します。				
成績評価の方法	筆記試験①(レポート、演習態度、演習前後の課題等含む) 100点満点、60点未満は再試験を行う。課題は提出期限内に提出したものを評価対象とする。				
	筆記試験②(レポート、演習態度、演習前後の課題等含む) 100点満点、60点未満は再試験を行う。課題は提出期限内に提出したものを評価対象とする。				
	筆記試験①・②の平均点で評価する。 60点以上合格				

科目名	診断・治療に伴う援助技術Ⅰ				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時間	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
目的/概要	安全確保、医療機器などの診断・治療に伴う看護技術を学ぶ				
到達目標	1.治療に伴う検査の目的と意味を理解し、看護師の役割を理解できる 2.ME機器の原理を理解し、安全に使用するための方法を理解できる 3.診察・検査・処置の目的と意味を理解し、看護師の役割を理解できる 4.医療事故を防ぎ、患者の安全を確保するための対策を理解できる				
授業計画	時期	授業内容			
	1 木村	検査・処置の介助（X線・CT・MRI）			
	2 木村	検査・処置の介助（内視鏡検査・超音波検査・肺機能検査・核医学検査）			
	3 木村	症状・生体機能管理技術 検体検査（静脈血採血）			
	4 鈴木	症状・生体機能管理技術 検体検査（静脈血採血演習）			
	5 木村	症状・生体機能管理技術 検体検査（動脈血採血・血糖測定・尿・便・喀痰）			
	6 木村	症状・生体機能管理技術 検体検査（血糖測定演習）			
	7 鈴木	症状・生体機能管理技術 生体情報のモニタリング①			
	8 鈴木	症状・生体機能管理技術 生体情報のモニタリング② 心電図（演習）			
	9 木村	検査・処置の介助 穿刺			
	10 木村	筆記試験①（1時間）			
	11 川村	呼吸・循環を整える技術 酸素療法（酸素吸入療法）・排痰ケア			
	12 川村	呼吸・循環を整える技術 胸腔ドレナージ・吸入・人工呼吸療法			
	13 川村	呼吸・循環を整える技術 排痰ケア（演習）			
	14 鈴木	安全確保の技術① 基本原則の優先順位、誤薬防止、患者誤認防止			
	15 鈴木	安全確保の技術② チューブ類の予定外抜去防止、転倒転落防止 他			
16 鈴木	筆記試験②（1時間）				
使用教材	1.系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学2 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 2.系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学3 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 3.ビジュアル 臨床看護技術ガイド 照林社 4.看護がみえる vol.1基礎看護技術 メディックメディア 5.看護がみえる vol.2臨床看護技術 メディックメディア 6.医療安全ワークブック 医学書院				
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・演習の前に、演習を行う技術について各自事前学習を十分に行ってください。事前学習では、テキスト「基礎看護技術Ⅱ」の動画も見ておいてください。 ・演習はユニフォーム着用。（実習時と同様に身だしなみを整える）身だしなみが整っていない場合は、整えてから出席してもらうことがあります。 ・授業評価アンケートの協力をお願いします。 				
成績評価の方法	筆記試験①・②の評点を平均し、60点以上を合格とする。 レポート、演習態度、演習前後の課題も評価に含む。 課題は提出期限内に提出したものを評価対象とする。 筆記試験①・②の平均点で評価し、60点以上を合格とする。 60点未満は「診断・治療に伴う援助技術Ⅰ」全範囲での再試験を行う。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	診断・治療に伴う援助技術Ⅱ				
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
目的/概要	与薬、創傷管理などの治療に伴う看護技術を学ぶ				
到達目標	1.薬物療法における看護師の役割・責任を理解し、与薬に必要な基礎的技術を習得する 2.創傷管理の基礎知識を理解し、創傷処置の技術を習得する				
授業計画	時期	授業内容			
	1 鈴木	与薬の技術 剤形と吸収経路 看護師の役割			
	2	経口、吸入、点眼、点鼻、経皮的与薬、直腸内与薬			
	3	与薬の技術 注射の基礎知識			
	4	与薬の技術 注射剤の準備（演習）			
	5	与薬の技術 皮下注射（演習）（インスリン注射含む）			
	6	与薬の技術 筋肉内注射（演習）			
	7	与薬の技術 点滴静脈内注射（演習）			
	8	与薬の技術 皮内注射・中心静脈栄養			
	9	与薬の技術 直腸内与薬（演習）			
	10	与薬の技術 輸血管理			
	11 川村	創傷管理技術 創傷管理の基礎知識 包帯法・三角巾（基礎知識）			
	12	創傷管理技術 包帯法・三角巾（演習）			
	13 田村	創傷管理技術 褥瘡予防・創処置			
	14	創傷管理技術 ストーマケア			
	15 鈴木	筆記試験・まとめ			
使用教材	1.系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学3 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 2.看護がみえる vol.1基礎看護技術 メディックメディア 3.看護がみえる vol.2臨床看護技術 メディックメディア 4.医療安全ワークブック				
履修上の注意	・演習の前に、演習を行う技術について各自事前学習を十分に行ってください。 事前課題があります。テキスト「基礎看護技術Ⅱ」の動画を視聴し、学習してください。 ・演習はユニフォーム着用。（実習時と同様に身だしなみを整える） 身だしなみが整っていない場合は、整えてから出席してもらうことがあります。 ・授業評価アンケートの協力をお願いします。				
成績評価の方法	筆記試験で評価し、60点以上を合格とする。 レポート、演習態度、演習前後の課題も評価に含む。 課題は提出期限内に提出したものを評価対象とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	看護過程Ⅰ				
履修年次	1年次	履修学期	後期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
目的/概要	対象の健康上の問題を解決するための思考過程を学ぶ				
到達目標	1.看護過程を構成する要素とそのプロセス、また看護過程を用いることの意義を理解する。 2.看護過程の構成要素について、その基本的な考え方を学ぶ。 3.看護記録の目的と留意点、その構成について学ぶ。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	看護過程の概要・看護過程展開の基盤となる考え方			
	2	看護過程の展開①アセスメント			
	3	看護過程の展開②看護問題の明確化			
	4	看護過程の展開③看護問題と看護診断			
	5	看護過程の展開④計画立案			
	6	看護過程の展開⑤実施 ⑥評価			
	7	看護記録の実際、優先順位および看護計画の追加・修正			
	8	筆記試験(1時間)			
使用教材	1.系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学2 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 2.系統看護学講座 別巻 臨床検査 医学書院 3.看護がみえる vol.4 看護過程の展開 メディックメディア				
履修上の注意	* 必要時、資料配布				
成績評価の方法	筆記試験：90点 提出物他：10点 合計：100点 60点以上で合格。課題は提出期限内に提出したものを評価対象とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	看護過程 II				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1 単位(1 5 時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
目的/概要	看護過程の展開方法を活用し、臨床判断能力の基盤を学ぶ				
到達目標	看護過程の一連の過程を理解し、紙上事例を基に看護過程を展開する				
授業計画	時期	授業内容			
	1	看護過程の実際① アセスメント（情報収集）			
	2	看護過程の実際① アセスメント（情報の分析・解釈）			
	3				
	4	看護過程の実際② 看護問題の明確化			
	5	看護過程の実際③ 看護計画			
	6				
	7	看護過程の実際④ 実施記録（SOAP）			
	8	看護過程の実際⑤ 評価			
使用教材	1.系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学2 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 2.系統看護学講座 別巻 臨床検査 医学書院 3.看護がみえる vol.4 看護過程の展開 メディックメディア				
履修上の注意	必要時、資料を配布する。				
成績評価の方法	紙上事例課題の内容、授業態度を基に総合的に評価する。60点以上を合格とする。 課題は提出期限内に提出したものを評価対象とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画 (シラバス)

科目名	看護研究Ⅰ				
履修年次	2年次	履修学期	前期・後期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時間	単位時間数	2単位(4.5時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
目的/概要	看護研究の意義や必要性を学び、研究方法の基礎を理解する				
到達目標	1. 看護研究の意義を理解する。 2. 知識を活用するための文献検索、クリティークを学ぶ。 3. 研究の一連の過程を理解し、看護実践をケーススタディとしてまとめる。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	看護研究の意義、目的、種類			
	2	ケーススタディの意義			
	3	文献検索			
	4	文献検索と活用(看護理論)			
	5	〃			
	6	看護研究と倫理			
	7	筆記試験(1時間)			
	8	ケーススタディの進め方(研究計画書)			
	9	ケーススタディの実際(講義)① はじめに			
	10*橋本	ケーススタディの実際(演習)② 〃			
	11	ケーススタディの実際(講義)③ 事例紹介			
	12*橋本	ケーススタディの実際(演習)④ 〃			
	13	ケーススタディの実際(講義)⑤ 看護の実際			
	14*橋本	ケーススタディの実際(演習)⑥ 〃			
	15*橋本	ケーススタディの実際(演習)⑦ 〃			
	16	ケーススタディの実際(講義)⑧ 考察			
	17*橋本	ケーススタディの実際(演習)⑨ 〃			
	18*橋本	ケーススタディの実際(演習)⑩ 〃			
	19	ケーススタディの実際(講義)⑪ スライド・原稿作成			
	20	ケーススタディの実際(演習)⑫ 〃			
	21				
	22	ケーススタディ発表			
23					
使用教材	松本孚,森田夏実:看護のためのわかりやすいケーススタディの進め方.照林社 教科書以外の参考文献については、授業時に指示する。				
履修上の注意	・第3回、第8回～19回は情報科学室を使用予定 ・第8回～23回はUSBを使用予定				
成績評価の方法	① 筆記試験(30点満点) ② ケーススタディ(70点満点) 筆記試験とケーススタディを合算し60点以上を合格とする。 出席時間が2/3未満の場合は①②いずれも評価対象外とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画 (シラバス)

科目名	在宅看護概論				
履修年次	1年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1 単位(15時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	なし		
目的/概要	在宅看護の対象および在宅看護の場を理解し、看護の役割を学ぶ。				
到達目標	1.在宅看護の目的、対象、システムを説明できる。 2.在宅看護の歴史と法制度、動向を理解する。 3.在宅ケアを支える制度や社会資源を理解する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	地域・在宅看護の背景			
	2	地域・在宅看護の基盤			
	3	在宅看護の対象 療養者			
	4	〃			
	5	訪問看護システム			
	6	在宅看護の対象 家族			
	7	社会資源の活用			
	8	筆記試験 (1時間)			
使用教材	ナーシンググラフィカ 在宅看護論①地域療養を支えるケア ナーシンググラフィカ 在宅看護論②在宅療養を支える技術 [資料・DVD] いのちと生活を看護する訪問看護サービス, 公益財団法人 日本訪問看護財団				
履修上の注意	欠席した場合は、後日、講義内容の確認や資料を取りに来ること。				
成績評価の方法	筆記試験 (80点) + 授業態度・課題の内容と提出状況 (20点) = 計100点満点 60点以上を合格とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	在宅医療論				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1 単位(15時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	病院勤務経験有		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
目的/概要	在宅医療の基盤となる法や施策を理解し、在宅医療の支援と諸問題を学ぶ。				
到達目標	1.在宅における医療の目的と対象、支援、諸問題について理解する。 2.在宅看護における関係職種と社会資源が説明できる。 3.療養の場の再考と支援・調整について理解する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1 清治	在宅医療の基盤となる法と制度と施策・社会資源			
	2 清治	在宅医療①			
	3 清治	在宅医療②			
	4 藤原	退院支援、地域包括ケアシステムにおける多職種・多機関連携			
	5	地域医療連携センターの業務・役割			
	6	退院支援のプロセス			
	7	退院支援の演習			
	8	筆記試験（1時間）			
使用教材	ナーシンググラフィカ 在宅看護論①地域療養を支えるケア メディカ出版 ナーシンググラフィカ 在宅看護論②在宅療養を支える技術 メディカ出版 厚生労働統計会：国民衛生の動向 2022/2023年 一般財団法人厚生労働統計協会				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験で評価する。 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	地域の生活と健康Ⅰ				
履修年次	1年次	履修学期	後期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1 単位(15時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	なし		
目的/概要	地域の生活と人々が支え合って生きていることについて学ぶ。				
到達目標	1. 生活の基盤としての地域（歴史や風土、文化）を理解する。 2. 地域で暮らすこと、人と人がつながり生きていることについて説明できる。 3. 生活が健康に与える影響を理解する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	地域のとらえ方、生活（暮らし）のとらえ方			
	2	フィールドワーク計画			
	3	〃			
	4	地域の特性を生かした暮らしの観察（フィールドワーク）			
	5				
	6	フィールドワークまとめ（演習） 地域の環境とそこで生活する人への理解			
	7（1時間）	地域の生活環境が健康に与える影響			
	8	発表			
使用教材	[参考資料] ナーシンググラフィカ 在宅看護論①地域療養を支えるケア ナーシンググラフィカ 在宅看護論②在宅療養を支える技術				
履修上の注意	欠席した場合は、後日、講義内容の確認や資料を取りに来ること。				
成績評価の方法	レポート課題50点、グループ発表40点、授業態度10点の合計点で評価する。60点以上を合格とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	地域の生活と健康Ⅱ				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1 単位(15時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	なし		
目的/概要	地域の人々の暮らしを理解するとともに、暮らしが健康に与える影響を理解し支援のあり方を学ぶ。				
到達目標	1. 健康の保持増進・疾病の予防に関わる看護を理解する。 2. 地域の人々が抱える健康・生活上の課題を調査し、支援を検討することができる。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	健康の保持増進、疾病の予防に関わる看護 生活習慣病予防・介護予防、健康行動理論の活用、セルフケア理論の活用			
	2	地域アセスメント 地域の人々が抱える健康や生活上の課題の調査の計画			
	3	フィールドワーク計画			
	4	フィールドワーク			
	5				
	6	フィールドワークのまとめ 地域住民の健康に関わる問題点抽出			
	7 (1時間)	支援策			
	8	発表			
使用教材	[参考資料] ナーシンググラフィカ 在宅看護論①地域療養を支えるケア ナーシンググラフィカ 在宅看護論②在宅療養を支える技術				
履修上の注意	欠席した場合は、後日、講義内容の確認や資料を取りに来ること。				
成績評価の方法	レポート課題50点、グループ発表40点、授業態度10点の合計点で評価する。60点以上を合格とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	在宅看護の方法Ⅰ				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	火曜日 3,4時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	病院勤務経験なし		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
	理学療法士		病院勤務経験有		
目的/概要	在宅看護技術の基礎的知識を得て、看護の対象者の療養生活を支える能力を養う。				
到達目標	1.在宅看護に必要な療養上のケアおよび、医療的ケアの基礎知識を習得する。 2.在宅看護におけるアセスメント能力・看護技術を理解することができる。				
授業計画	時期	担当	授業内容		
	1	大槻	在宅療養生活を支える技術：初回訪問・アセスメント技術・コミュニケーション		
	2	大槻	在宅療養の場における睡眠の特徴・アセスメント		
	3	千葉	在宅療養の場における食生活の特徴・アセスメント		
	4	千葉	在宅経管栄養法、輸液管理、インスリン自己注射管理		
	5	千葉	在宅療養の場における呼吸ケアの特徴・アセスメント		
	6	千葉	排痰ケア、在宅酸素療法、在宅人工呼吸療法		
	7	千葉	在宅療養の場における排泄ケアの特徴・アセスメント		
	8	千葉	排泄ケア・ストーマ管理		
	9	千葉	在宅療養の場における清潔と更衣の特徴・アセスメント		
	10	千葉	足病変のケア・褥瘡管理（褥瘡の予防、評価方法、ポジショニング・除圧）		
	11	千葉	在宅療養の場における薬物療法・化学療法		
	12	千葉	疼痛管理・ターミナルケア		
	13	千葉	在宅における移動と肢位の保持・アセスメント（1時間）		
	14	濱岡	生活リハビリテーション		
	15	濱岡	生活リハビリテーションの基本、障害や状態に応じたリハビリテーション		
	16	千葉	筆記試験（1時間）		
使用教材	〔テキスト〕・ナーシンググラフィカ 在宅看護論①地域療養を支えるケア ・ナーシンググラフィカ 在宅看護論②在宅療養を支える技術				
履修上の注意	筆記試験100点満点で行い60点以上が合格。 その他、レポート課題の提出状況、講義態度で評価。				
成績評価の方法	*演習は基礎実習室使用。ユニホーム、患者用パジャマ、その他必要物品を準備のこと。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	在宅看護の方法 II				
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態	講義・演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	看護師	実務経験	病院勤務経験有		
	社会福祉士	実務経験	なし		
目的/概要	在宅看護が展開できるための基礎知識、技術を習得する。				
到達目標	1.在宅における看護過程について理解する。 2.さまざまな疾病や障害に特徴的な看護の展開方法を理解する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	訪問看護の実際			
	2	訪問看護サービスの展開・訪問看護の記録			
	3	在宅看護における安全と健康危機管理			
	4	対象に応じた在宅看護〔事例〕			
	5	対象に応じた在宅看護〔事例〕			
	6	対象に応じた在宅看護〔事例〕			
	7 *小坂	地域包括ケアシステムによる多職種・多機関連携			
	8	対象に応じた在宅看護〔事例〕（1時間）			
使用教材	1.ナーシンググラフィカ 在宅看護論①地域療養を支えるケア メディカ出版 2.ナーシンググラフィカ 在宅看護論②在宅療養を支える技術 メディカ出版 3.厚生労働統計会 国民衛生の動向 2024/2025年 一般財団法人厚生労働統計協会				
履修上の注意	欠席した場合は、後日資料を取りに来ること。				
成績評価の方法	筆記試験・在宅看護過程事例のレポート 合計60点以上を合格とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	成人看護学概論				
履修年次	1年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
目的／概要	成人期の特徴や健康問題を理解し、看護理論を活用しながら対象の健康の保持増進、疾病予防ができるための看護の方法を学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 成長発達段階における成人期の位置づけと成長発達の特徴を理解する。 2. 成人期にある対象の生活を捉え、看護に活用する方法を理解する。 3. 成人の健康観の多様性に応じた看護の考え方を理解する。 4. 成人の学習の特徴を踏まえた看護の考え方を理解する。 5. 成人期にある対象への看護活動に必要な理論とその活用方法を理解する。 				
授業計画	時期	授業内容			
	1	1. 成長発達段階における成人期の位置づけ			
	2	2. 成人の成長発達の特徴①			
	3	成人の成長発達の特徴②			
	4	成人の成長発達の特徴③（発表・まとめ）			
	5	成人期の統計、成人と死、レポートについて			
	6	3. 身体機能の特徴と看護			
	7	4. 成人の生活を理解する視点と方法 5. 成人の健康観の多様性に応じた看護の考え方			
	8	6. 成人の学習の特徴を踏まえた看護の考え方			
	9	DVD「わたしたちのからだと健康」 1. 病みの軌跡			
	10	2. セルフケア			
	11	3. 適応 4. 自己効力			
	12	5. アドヒアランス			
	13	6. 行動変容ステージモデル 7. ストレス			
	14	8. 危機 *糖尿病患者の教育計画			
15	筆記試験・*糖尿病患者の教育計画解説				
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・ナースング・グラフィカ 成人看護学① 成人看護学概論 メディカ出版 ・必要時、資料・文献を配布または紹介します。 				
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・第2～4回のグループワークではUSBメモリーを使用します。 ・授業評価アンケートの協力をお願いします。 				
成績評価の方法	<p>筆記試験と課題レポートで合計100点満点。60点以上合格。 課題は提出期限内に提出したものを評価対象とする。 課題レポート「成人（個人）の成長発達のアセスメントガイドに沿って自己のアセスメントをする」</p>				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	成人健康支援論				
履修年次	1年次	履修学期	後期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	保健師	実務経験	病院勤務経験有		
	栄養管理士		病院勤務経験有		
	理学療法士		病院勤務経験有		
目的/概要	健康教育の考え方と指導方法を学ぶ。				
到達目標	対象に合わせた指導方法の実際を理解する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1 根本	生活習慣によって引き起こされる病気とその予防策			
	2	治療就労両立支援センターにおける保健師の役割について			
	3 高橋	生活習慣病予防・改善のための食事療法			
	4	生活習慣病予防・改善のための食事療法（症例検討）			
	5 佐藤	I n b o d y 骨密度測定（演習）			
	6	骨粗鬆症の予防と改善、メタボリックシンドロームの予防と改善			
	7	勤労者における高血圧対策・腰痛体操について			
	8 根本	筆記試験（1時間）			
使用教材	必要時資料の提示				
履修上の注意	I n b o d y 骨密度測定 は、測定しやすい服装で出席する。				
成績評価の方法	筆記試験（3名合同）で評価する。60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	周手術期看護				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(15時間)		
	専任教員		病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
目的／概要	周手術期に必要な知識と技術を習得する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 手術を受ける患者の状況と看護師の役割を理解する。 2. 手術中に必要な看護を理解する。 3. 手術中の安全管理について学ぶ。 4. 術後の苦痛緩和、術後合併症の早期発見と予防のための方法がわかる。 5. 術後機能障害と生活制限への援助の必要性がわかる。 6. 事例をもとに、周手術期における代表的な疾患についての看護の方法を理解する。 				
授業計画	時期	授業内容			
	1	周手術期看護の概論			
	2	手術前の患者の看護、手術中の患者の看護			
	3	手術後の患者の看護、麻酔や手術侵襲による生体反応と術後合併症予防			
	4	周手術期にある対象への看護の実際（グループワーク）			
	5	周手術期にある対象への看護の実際（発表）			
	6	*	周手術期にある対象への看護の実際（演習）		
	7	*	周手術期にある対象への看護の実際（演習）		
	8	筆記試験（1時間）			
使用教材	<p>テキスト：周手術期看護 安全・安楽な看護の実際 インターメディカ ナーシング・グラフィカ 成人看護学④ 周手術期看護 メディカ出版 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護総論 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 系統看護学講座専門分野 成人看護学2 呼吸器 医学書院 系統看護学講座専門分野 成人看護学3 循環器 医学書院 系統看護学講座専門分野 成人看護学5 消化器 医学書院 系統看護学講座専門分野 成人看護学8 腎・泌尿器 医学書院 ナーシング・グラフィカEX 疾患と看護⑦ 運動器 メディカ出版</p> <p>文献：授業時、必要な資料の配布・紹介をします。</p>				
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト「周手術期看護 安全・安楽な看護の実際」に付属しているDVDを視聴し、授業に出席する。 ・演習前課題は事前に提示する。演習時は実習に準ずる服装・準備をして臨むこと。 ・課題は提出期限内に提出したものを評価対象とする。 				
成績評価の方法	筆記試験、課題、発表で評価する 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	急性期看護				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
目的/概要	急性期看護に必要な知識と技術を習得する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 急性期にある対象の特徴と看護師の役割を理解する。 急性期看護に用いられる主要な理論・概念を理解する。 臨床判断に必要な考え方を理解する。 事例をもとに、急性期における代表的な疾患についての看護の方法を理解する。 				
授業計画	時期	授業内容			
	1 鈴木	急性期看護とは			
	2	臨床判断とは何か（グループワーク）			
	3	「予期・気づき」を養う 事例①（講義・グループワーク）			
	4	「解釈する・反応する」を養う 事例①（講義・グループワーク）			
	5	「反応する・省察する」を養う 事例①（講義・グループワーク）			
	6	急性期にある対象・家族への看護を考える 事例②（講義・グループワーク）			
	7	急性期にある対象・家族への看護を考える 事例②（講義・グループワーク）			
	8	急性期にある対象・家族への看護を考える 事例②（講義・グループワーク発表準備）			
	9	事例②のグループワークの発表・まとめ			
	10 川村	急性期にある対象・家族への看護の実際（事例検討：個人ワーク）			
	11	急性期にある対象・家族への看護の実際：（事例検討：グループワーク）			
	12	急性期にある対象・家族への看護の実際（事例検討：グループワーク）			
	13	急性期にある対象・家族への看護の実際（演習①）			
	14	急性期にある対象・家族への看護の実際（演習②）			
	15	急性期にある対象・家族への看護の実際（演習後のまとめ）（1時間）			
	16	筆記試験（1時間）			
使用教材	<p>テキスト：ナーシンググラフィカ 成人看護学② 健康危機状況/セルフケアの再獲得 メディカ出版 系統看護学講座専門分野 成人看護学2 呼吸器 医学書院 系統看護学講座専門分野 成人看護学3 循環器 医学書院 系統看護学講座専門分野 成人看護学7 脳・神経 医学書院</p> <p>文 献：授業時、必要な資料の配布・紹介をします。</p>				
履修上の注意	<p>フィジカルアセスメント、疾病の成り立ちと回復の促進の復習を行い、授業に出席する。 演習時は実習に準ずる服装、準備をして臨む。 グループワークは事前課題がある。課題と自己学習を行い、授業に出席する。</p>				
成績評価の方法	筆記試験で評価する 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	慢性期看護				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
	看護師		病院勤務経験有		
	看護師		病院勤務経験有		
目的/概要	慢性期に必要な知識と技術を習得する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 慢性期にある対象の特徴と看護師の役割を理解する。 慢性期看護に用いられる主要な理論・概念を理解する。 慢性期にある対象への多職種連携と看護の役割を理解する 事例をもとに、慢性期における代表的な疾患についての看護の方法を理解する。 				
授業計画	時期	授業内容			
	1 木村	慢性期看護とは			
	2 木村	慢性期にある対象・家族の理解 慢性期における多職種連携と看護の役割			
	3 木村	慢性期看護で用いられる理論			
	4 木村	セルフマネジメントとは			
	5 鈴木	慢性期にある対象・家族への看護の実際	循環器系	(グループワーク)	
	6 川村	慢性期にある対象・家族への看護の実際	呼吸器系		
	7 立身	慢性期にある対象・家族への看護の実際	がん		
	8 川原	慢性期にある対象・家族への看護の実際	消化器系		
	9 川原	慢性期にある対象・家族への看護の実際	難病・膠原病系		
	10 菊地	慢性期にある対象・家族への看護の実際 尿路変更術を受けた患者のセルフマネジメント支援	腎・泌尿器系		
	11 木村	慢性期にある対象・家族への看護の実際	代謝・内分泌系		
	12 後藤	慢性期にある対象・家族への看護の実際	代謝・内分泌系	糖尿病患者のフットケア (演習)	
	13 木村	慢性期にある対象・家族への看護の実際	(演習①)		
	14 木村	慢性期にある対象・家族への看護の実際	(演習②)		
	15 木村	筆記試験・まとめ			
使用教材	<p>テキスト：ナーシンググラフィカ 成人看護学③セルフマネジメント メディカ出版 系統看護学講座専門分野 成人看護学2 呼吸器 医学書院 系統看護学講座専門分野 成人看護学3 循環器 系統看護学講座専門分野 成人看護学5 消化器 系統看護学講座専門分野 成人看護学6 内分泌・代謝 系統看護学講座専門分野 成人看護学8 腎・泌尿器 系統看護学講座専門分野 成人看護学11アレルギー・膠原病 感染症 系統看護学講座 別巻 がん看護学 系統看護学講座 別巻 緩和ケア</p> <p>文献：授業時、必要な資料の配布・紹介をします。</p>				
履修上の注意	<p>1年次に履修した「成人看護学概論」の復習をして臨む。 12回目 代謝・内分泌系 糖尿病患者のフットケア（演習）の受講時は、足を出せるように準備する。</p>				
成績評価の方法	演習（提出物も含む）および筆記試験で評価する 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	リハビリテーション期看護				
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
	看護師		病院勤務経験有		
	看護師		病院勤務経験有		
目的/概要	リハビリテーション期に必要な知識と技術を習得する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. リハビリテーション期にある対象の特徴を理解する。 2. リハビリテーションに用いられる主要な概念と理論を理解する。 3. リハビリテーション期にある対象への多職種連携と看護の役割を理解する。 4. 事例をもとに、リハビリテーション期における代表的な疾患についての看護の方法を理解する。 				
授業計画	時期	授業内容			
	1 真壁	リハビリテーション看護とは 時期および目的から見たリハビリテーション看護 チームアプローチと看護の役割			
	2 真壁	リハビリテーションに用いられる主要な概念 リハビリテーションにおける倫理、法律、施策 心理・社会的なアセスメントと援助			
	3 真壁	リハビリテーション期にある対象・家族への看護：運動器系			
	4 鈴木	リハビリテーション期にある対象・家族への看護：循環器系			
	5 中澤	リハビリテーション期にある対象・家族への看護：呼吸器系 体位ドレナージ・用手的呼吸介助（演習）			
	6 鈴木	リハビリテーション期にある対象・家族への看護：脳神経系			
	7 松村	リハビリテーション期にある対象・家族への看護：ST、脳神経系 言語聴覚療法の実際（演習）			
	8 真壁	筆記試験（1時間）			
使用教材	テキスト：ナーシンググラフィカ 成人看護学⑤ リハビリテーション看護 メディカ出版 系統看護学講座 専門分野 成人看護学2 呼吸器 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学3 循環器 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学7 脳・神経 医学書院 ナーシンググラフィカ EX 疾患と看護⑦ 運動器 メディカ出版 その他、参考図書・参考文献については、授業の中で提示する				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験で評価する 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	終末期看護				
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	看護師	実務経験	病院勤務経験有		
目的／概要	終末期に必要な知識と技術を習得する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 終末期看護・緩和ケアの定義と関連する概念を理解する。 2. 終末期・緩和ケアにおける看護師の役割と多職種連携について理解する。 3. コミュニケーションの意義と基本的スキルについて理解する。 4. 緩和ケアを受ける患者・家族の特徴と看護支援について理解する。 5. さまざまなライフサイクル、さまざまな疾患を対象とした緩和ケアの広がりを理解する。 				
授業計画	時期	授業内容			
	1	終末期看護の理解 緩和ケアの現状と展望 緩和ケアにおけるチームアプローチ			
	2	終末期・緩和ケアにおけるコミュニケーション			
	3	終末期・緩和ケアにおける倫理的課題 看護倫理・意思決定支援・倫理的課題			
	4	全人的ケアの実践 苦痛をやわらげ日常生活を営むための援助 病によるストレスへの対処の力とその支援 住み慣れた地域での暮らしの支援 生・老・病・死と向き合うための支援			
	5				
	6	臨死期のケア 家族のケア			
	7	緩和ケアの広がり ライフサイクル・疾患 療養の場の広がり・地域連携 医療従事者のストレスマネジメント			
	8	筆記試験（1時間）			
使用教材	テキスト：系統看護学講座 別巻 緩和ケア 医学書院 文 献：授業時、必要な資料の配布・紹介をします。				
履修上の注意	欠席した場合は、後日、講義内容の確認や資料を取りに来ること。				
成績評価の方法	筆記試験で評価する 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2024年度 授業計画（シラバス）

科目名	勤労者医療と看護				
履修年次	1年次	履修学期	後期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1 単位(15時間)		
担当教員	校長	実務経験	病院勤務経験有		
	副校長		病院勤務経験有		
目的/概要	勤労者の健康と福祉について社会の変化と発展の経緯・勤労者の健康対策機関の役割機能を通して学ぶ。さらに勤労者看護の必要性と看護の役割を理解する。				
到達目標	1. 勤労者の健康と福祉の現状及び看護の役割を理解する。 2. 勤労者看護の実際を理解する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	労働者の理解 労働衛生・行政			
	2	勤労者を取り巻く課題と対策1			
	3	勤労者を取り巻く課題と対策2			
	4	労働者健康安全機構の役割			
	5	労災病院の役割			
	6* 安倍	勤労者看護とは（定義・対象・役割） がん患者の就労支援 勤労者看護実践の方法			
	7* 安倍	勤労者看護実践の方法 「勤労者看護データベースアセスメント用紙」を用いた事例検討			
8	筆記試験（1時間）				
使用教材	テキスト：勤労者医療概論 労働者健康安全機構				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験で評価する。60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	メンタルヘルスマネジメント				
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	月曜日・3時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
目的/概要	精神的健康を保つ為のさまざまな知識やスキルを学ぶことにより、自身のメンタルヘルスを安定させ、就労するための支援を学ぶ。				
到達目標	メンタルヘルスの概念を理解する。 1) ストレス社会における勤労者の心の健康を支えるための方法を理解する。 2) 1)を実践する為に、メンタルヘルスを良好に保つ為の知識・スキルを習得する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	心理学や人間関係論との関係性			
	2	労働災害・過労死の統計的事実			
	3	自己と自我、1対1、1対多の人間関係			
	4	対人認知、ステレオタイプ、ハロー効果、中心特性			
	5	心的報酬と職業満足度、同調と服従、適切な距離			
	6	偏見と差別、許容と受容の違い、排他的思考			
	7	休職にかかわる企業の損失			
	8	安全配慮義務、自死、EAP（従業員支援プログラム）			
	9	セルフケアの重要性 厚生労働省の指針 心の健康づくり4つのケア			
	10	ストレスとは ストレスとストレッサー、ユートレスとディストレス			
	11	ストレスマネジメントⅠ(レジリエンス・リフレーミング)			
	12	ストレスマネジメントⅡ(コーピングレパートリー・マインドフルネス)			
	13	積極的傾聴技法 演習			
	14	筆記試験（1時間）			
15	会社見学（産業看護師の現場）（3時間）				
使用教材	教科書： プリント				
履修上の注意	労災・過労死等のニュースや関連法案について、折に触れて目を配り知識の習得に努めること。				
成績評価の方法	筆記試験で評価する。 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	老年看護学概論				
履修年次	1年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
目的/概要	老年看護の対象の特徴および看護の役割を理解する。				
到達目標	1.高齢者の特徴を理解する。 2.老年看護の基本的役割を理解する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	1. 超高齢社会における老年看護 「加齢」と「老化」 加齢に伴う変化			
	2	2. 老年体験			
	3	3. 高齢者の生きてきた時代背景について（グループワーク）			
	4	4. 身体的機能の加齢変化 (1) 感覚・運動神経系			
	5	4. 身体的機能の加齢変化 (2) 呼吸・循環系 (3) 排泄系 - 腎・消化器 -			
	6	4. 身体的機能の加齢変化 (4) 脳・免疫系 5. 心理的・社会的変化			
	7	6. 老年看護における理論・概論の活用			
	8	筆記試験（1時間）			
使用教材	・テキスト：系統看護学講座 老年看護学 医学書院 系統看護学講座 老年看護学 病態・疾患論 医学書院 国民衛生の動向 2024/2025年 一般財団法人厚生労働統計協会				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験（80点）レポート他（20点）で評価する。 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	老年健康支援論				
履修年次	1年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
目的/概要	1.超高齢社会における現状と動向、保健医療福祉システムについて理解する。 2.高齢者のヘルスプロモーションについて理解し、健康の保持増進と疾病予防について理解する。				
到達目標	1.超高齢社会の現状を理解する 2.高齢社会における保健医療福祉の動向を理解し、看護援助に必要な知識を習得する 3.高齢社会の現状から老年看護の役割・意義を認める				
授業計画	時期	授業内容			
	1	超高齢社会の統計的輪郭 ・超高齢社会の現況 ・高齢者と家族 ・高齢者の健康状態 ・高齢者の死亡 ・高齢者の暮らし			
	2	高齢社会における保健医療福祉の動向 ・高齢者にかかわる保健医療福祉システムの構築			
	3	生活・療養における看護 ・高齢者とヘルスプロモーション・ロコモティブシンドローム・フレイル予防 ・治療・介護を必要とする高齢者を含む家族の看護 ※老年看護・病態：フレイル			
	4	高齢者を支える多職種連携と看護活動 高齢者のリスクマネジメント ・高齢者と医療安全 ・高齢者と救命救急 ・高齢者と災害 仙台市台原老人福祉センター見学オリエンテーション			
	5	高齢者対象の健康教育（グループワーク）			
	6	老人福祉施設見学 （仙台市台原老人福祉センター・台原デイサービスセンター見学）			
	7	筆記試験（1時間）			
	8	高齢者対象の健康教育（発表）			
使用教材	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院 2. 系統看護学講座 専門分野 老年看護 病態・疾患論 医学書院 3. 国民衛生の動向2025/2026 一般財団法人厚生労働統計協会				
履修上の注意	・老人福祉施設見学時は、集合時間や服装に注意して行動する。				
成績評価の方法	筆記試験80点満点+授業態度・課題内容・課題提出状況・グループワーク・発表20点満点=100点満点で評価、60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	老年看護の方法Ⅰ				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
目的/概要	高齢者の加齢変化と健康レベルに応じた看護に必要な知識と技術を学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者の生活機能を整えるためのアセスメントとケアの方法を修得する。 2. 高齢者に発生しやすい健康障害の特徴と看護の方法を学ぶ。 				
授業計画	時期	授業内容			
	1	高齢者のアセスメントー身体に加齢変化とアセスメント①			
	2	高齢者のアセスメントー身体に加齢変化とアセスメント②			
	3	高齢者の生活機能を整える看護 日常生活を支える基本的活動（ADL、姿勢、移動・移乗）			
	4	日常生活を支える基本的活動（転倒・廃用症候群ーアセスメントと看護）			
	5	食事・食生活（食生活と摂食・嚥下機能のアセスメント）			
	6	高齢者と睡眠ー生活リズムを整える看護			
	7	コミュニケーション障害のアセスメントと看護/セクシュアリティ/社会参加			
	8	排泄 演習：おむつを用いた陰部洗浄・おむつ交換			
	9	清潔 身体的障害のある高齢者の入浴・シャワー浴			
	10	清潔 演習：身体的障害のある高齢者の全身清拭とシーツ交換			
	11	症候のアセスメントと看護（グループワーク）			
	12	症候のアセスメントと看護（まとめ・発表）（3時間）			
	13	筆記試験（1時間）			
14・15	* 口腔ケア・演習				
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 医学書院				
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・ 口腔ケアについての講義4時間（講義2回）は歯科衛生士の講師が担当し、演習を行う。 ・ 演習時はバインダーを持参する。 ・ 演習時は原則ユニフォーム着用にて行う。指示があった場合には身なりを整えて臨む。 				
成績評価の方法	筆記試験：90点満点 + 授業態度・課題提出状況：10点満点 = 計100点満点 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	老年看護の方法Ⅱ				
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1 単位(30時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
目的／概要	高齢者に特徴的な健康障害と看護援助の方法を学ぶ				
到達目標	高齢者の健康障害の特徴を理解し、看護援助に必要な知識・技術を習得する				
授業計画	時期	授業内容			
	1	治療を必要とする高齢者の看護① 検査と薬物療法を受ける高齢者の看護			
	2	治療を必要とする高齢者の看護② 入院治療を受ける高齢者の看護			
	3	治療を必要とする高齢者の看護③ 術前・術後の看護マネジメント			
	4	*	認知症看護①		
	5	*	認知症看護②		
	6	*	認知症看護③		
	7	身体疾患のある高齢者の看護①			
	8	身体疾患のある高齢者の看護②			
	9	身体疾患のある高齢者の看護③			
	10	事例による看護過程展開①			
	11	事例による看護過程展開②			
	12	事例による看護過程展開③			
	13	事例による看護過程展開④			
	14	事例による看護過程展開 <発表>			
	15	筆記試験・看護過程の振り返り			
使用教材	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学, 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患論, 医学書院 その他、参考図書・参考文献については、授業の中で提示していく。				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験・事前課題・グループワーク・授業態度を総合的に評価し、60点以上を合格とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	小児看護学概論				
履修年次	1年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
目的/概要	小児看護の対象である小児と家族、取り巻く環境について理解し、小児看護の目的・役割について学ぶ 小児の健康増進と疾病予防について学ぶ				
到達目標	成長発達段階における子どもの特徴を理解し、小児看護の特徴と看護の役割を理解する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	小児看護の特徴と理念 小児の成長と発達の理解			
	2	小児の成長発達と基本的な生活習慣（グループワーク）			
	3	子どもの成長発達に合わせた看護（グループワーク発表）			
	4	小児と家族の諸統計			
	5	小児の予防接種と健康診断、医療費			
	6	家族の特徴とアセスメント 行動で理解する子どもの発達			
	7	子どもの発達の実際と各期の諸環境と健康問題			
	8	筆記試験（1時間）			
使用教材	テキスト：系統看護学講座 小児看護学[1] 小児看護学概論・小児臨床看護総論 医学書院 参考書：看護のための人間発達学[第5版] 医学書院				
履修上の注意	グループワークを行う際は情報科学室用のUSBメモリーを持参する。 欠席した場合は、後日、講義内容の確認や資料を取りに来ること。				
成績評価の方法	筆記試験70点+課題30点の合計100点で評価し、60点以上が合格。 課題は提出期限内に提出したものを評価対象とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	小児疾病論				
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	火曜日・4時限	単位時間数	1 単位(15時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	病院勤務経験有		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
目的／概要	小児の疾病の成り立ちと回復について学ぶ。				
到達目標	小児の疾病の特徴を理解し、各疾患の病態・症状・診断・治療について学び、看護の根拠を考えることができる。				
授業計画	時期	授業内容			
	1 高柳	小児の血液・造血器疾患と悪性新生物			
	2 沼田	小児の感染症と呼吸器感染症			
	3 高柳	小児の内分泌代謝疾患			
	4 及川	小児の循環器疾患と精神疾患、運動器疾患、皮膚・眼疾患			
	5 及川	小児の染色体異常と先天異常（1時間）			
	6 千葉	腎泌尿器疾患（1時間）			
	7 沼田	小児の新生児疾患と耳鼻疾患、消化器疾患			
	8 千葉	小児の免疫疾患と神経・筋疾患			
	9 千葉	筆記試験（1時間）			
使用教材	テキスト：系統看護学講座 小児看護学2 小児看護学各論 医学書院				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験（4人合同）で評価する。 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	小児看護の方法Ⅰ				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1 単位(30時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
目的/概要	小児の健康を保持増進するための日常的援助（養育）と生活指導を学ぶ。				
到達目標	小児の健康発達を支援する看護を理解し、実践することができる。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	小児のフィジカルアセスメント（コミュニケーション）			
	2	アセスメントの実際①（バイタルサインと身体計測）			
	3	アセスメントの実際②（事例演習）			
	4	児童福祉と母子保健、保育所			
	5	子どもの安全を守る看護（事故・外傷）			
	6	子どもの虐待と看護			
	7	小児の日常生活援助①（清潔・衣生活・移動）			
	8	日常生活援助の実際（演習① 抱き方、衣服の着脱）			
	9	小児の日常生活援助②（オムツ交換、トイレトレーニング、調乳・離乳食、寝かしつけ）			
	10	日常生活援助の実際（演習② オムツ交換、哺乳、離乳食・ミルク試食）			
	11	子どもを養育する家族への支援			
	12	小児の日常生活援助③（遊び）			
	13	学校保健と特別支援教育			
	14	日常生活援助の実際（演習③ 発達段階に合わせた遊び）			
15	筆記試験 課題発表（子育ての本）				
使用教材	テキスト：系統看護学講座 小児看護学[1] 小児看護学概論・小児臨床看護総論 医学書院 ：系統看護学講座 小児看護学[2] 小児看護学各論 医学書院 参考書 ：看護のための人間発達学[第5版] 医学書院				
履修上の注意	小児の成長発達をふまえた授業なので、成長発達を復習しておく。 欠席した場合は、後日、講義内容の確認や資料を取りに来ること。				
成績評価の方法	筆記試験70点+課題30点の合計100点で評価し、60点以上が合格。 課題は提出期限内に提出したものを評価対象とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	小児看護の方法Ⅱ				
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1 単位(30時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
目的/概要	小児の健康障害の特徴を理解し、健康障害のある小児とその家族に必要な看護を学ぶ。 小児看護における具体的な看護技術について学び、対象に応じた小児看護を実践するために必要な知識を学ぶ。				
到達目標	健康障害と成長発達に応じた小児看護を実践するために必要な知識・技術を習得する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	病気・障害を持つ子どもと家族の看護			
	2	障害のある子どもと家族の看護			
	3	子どもの状況（環境）に特徴づけられる看護（入院・外来・在宅・災害の看護）			
	4	子どもにおける疾病の経過と看護（慢性期・急性期・周術期・終末期）			
	5	症状を示す子どもの看護①			
	6	症状を示す子どもの看護②			
	7	子どもの安全な環境と感染対策 実習でのインシデント事例の分析			
	8	検査・処置を受ける子どもの看護①			
	9	事例による看護過程展開（グループワーク）			
	10	検査・処置を受ける子どもの看護②（グループワーク）			
	11	検査・処置を受ける子どもの看護③④（小児看護技術発表・演習）			
	12				
	13	検査・処置を受ける子どもの看護⑤（輸液療法演習）			
	14	事例による看護過程展開（グループワーク発表）			
15	筆記試験 まとめ				
使用教材	テキスト：系統看護学講座 小児看護学[1] 小児看護学概論・小児臨床看護総論 医学書院 ：系統看護学講座 小児看護学[2] 小児看護学各論 医学書院 参考書：看護のための人間発達学[第5版] 医学書院				
履修上の注意	小児の成長発達をふまえた授業なので、成長発達を復習しておく。 欠席した場合は、後日、講義内容の確認や資料を取りに来ること。				
成績評価の方法	筆記試験70点+課題30点の合計100点で評価し、60点以上が合格。 課題は提出期限内に提出したものを評価対象とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	母性看護学概論				
履修年次	1年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1 単位(15時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
目的／概要	母性とは何かを考え、母性対象を理解し母性看護の目的を理解する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 母性とは何かを考え母性のとらえ方について理解を深める。 2. 母性看護の対象を理解し、母性に関する法律や制度について学び、母性看護の役割を理解する。 3. 生命倫理について考える。 				
授業計画	時期	授業内容			
	1	I 母性看護の基盤となる概念 <ol style="list-style-type: none"> 1. 母性とは 2. 母子関係と家族発達 3. セクシャリティ 4. リプロダクティブヘルス・ライツ 5. ヘルスプロモーション 6. 母性看護のあり方 7. 安全・事故予防 			
	2	II 母性看護を取り巻く社会の変遷と現状 母子保健統計 母性看護の関わる法律・施策			
	3	III 母性看護の対象とその理解			
	4	母性看護に関する地域の社会資源について（グループワーク）			
	5	IV リプロダクティブヘルスケア（グループワーク含む） <ol style="list-style-type: none"> 1. 喫煙 2. 感染症 3. 家族計画 4. 人工妊娠中絶 5. DV 6. 児童虐待 7. 国際化社会 			
	6				
	7	V 母性と生命倫理（グループワーク）			
8	筆記試験（1時間）				
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門分野II 母性看護学1 母性看護学概論 医学書院 参考文献：国民衛生の動向 2024/2025 一般財団法人厚生労働統計協会 ＊必要時、資料を配布する。				
履修上の注意	妊娠・出産・育児・女性に関する情報を得ておく。 授業には人体の構造と機能の女性生殖器関連の復習をして臨むこと。 予習課題・グループワークのための事前準備課題があります。				
成績評価の方法	筆記試験・レポート等の提出状況を併せた総合評価 筆記試験：80点 レポート等提出状況：20点 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	母性看護の方法Ⅰ				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	木曜日・1時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	病院勤務経験有		
目的/概要	妊娠・分娩期における正常な経過および対象をとりまく環境を理解し、必要な看護を学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠期における身体的・精神的・社会的特徴、および胎児の発育について説明できる。 2. 妊婦と胎児およびその家族に必要とされる看護援助についてその根拠を考えることができ、援助技術を習得できる。 3. 分娩期における身体的・精神的・社会的特徴、および胎児に及ぼす影響について説明できる。 4. 産婦と胎児およびその家族に必要とされる看護援助についてその根拠を考えることができ、援助技術を習得できる。 				
授業計画	時期	授業内容			
	1	妊娠期の身体的変化の特徴			
	2	妊娠期の心理・社会的特徴			
	3	妊娠期の異常①			
	4	妊娠期の異常②			
	5	妊婦と胎児のアセスメントと看護①			
	6	妊婦と胎児のアセスメントと看護②			
	7	妊婦と家族の看護の実際と事例学習			
	8	筆記試験① 妊娠期（1時間）			
	9	分娩の経過			
	10	分娩の経過と胎児モニタリング			
	11	分娩期の異常①			
	12	分娩期の異常②			
	13	分娩期の異常③			
	14	産婦・胎児・家族のアセスメントと看護			
	15	分娩期の看護の実際と事例学習			
16	筆記試験② 分娩期（1時間）				
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 医学書院 病気がみえる VOL.10 産科 メディックメディア				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験①、②の平均点で評価する。 60点以上合格 * 不合格の場合は、①・②の範囲で再試験を行う。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	母性看護の方法Ⅱ				
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	病院勤務経験有		
	非常勤講師		病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
目的/概要	産褥期における正常な経過、新生児の正常な経過および対象をとりまく環境を理解し、必要な看護を学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 産褥期における身体的・精神的・社会的特徴について説明できる。 褥婦およびその家族に必要とされる看護援助についてその根拠を考えることができ、援助技術を習得できる。 新生児の生理的变化、身体的特徴について説明できる。 新生児に必要な看護援助についてその根拠を考えることができ、技術を習得することができる。 				
授業計画	時期	授業内容			
	1 阿部	産褥期の身体的変化の特徴			
	2	産褥期の心理・社会的特徴			
	3	褥婦と家族の看護①			
	4	褥婦と家族の看護②			
	5	産褥期のアセスメント①			
	6	産褥期のアセスメント②			
	7	産褥期に必要な看護技術（演習）			
	8	産褥期の事例学習①			
	9	産褥期の事例学習②			
	10	筆記試験①（1時間）			
	11 上溝	新生児とは 新生児の生理 体外生活への適応			
	12	新生児の健康状態のアセスメント			
	13	新生児の看護			
	14	新生児の異常と看護			
	15	筆記試験②（1時間）			
16 寺島	新生児に必要な看護技術（演習）				
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 医学書院 病気がみえる VOL.10 産科 メディックメディア				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験① 60点満点 筆記試験② 40点満点 *新生児に必要な看護技術を欠席した場合は、レポートを提出する。 筆記試験①・②の合計で評価する。 60点以上合格 *新生児に必要な看護技術を欠席した場合は、レポートを提出していること。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	母性看護の方法Ⅲ				
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1 単位(15時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
目的／概要	女性のライフサイクル各期の発達段階ごとの特徴と疾患をもつ患者の看護を学ぶ。				
到達目標	1. 女性のライフサイクル各期の健康問題と看護を理解できる。 2. 女性の健康障害とその看護を理解できる。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	女性のライフサイクルにおける看護 対象の理解			
	2	ライフサイクルにおける女性の健康と看護 ①思春期			
	3	〃 ②成熟期			
	4	〃 ③更年期 ④老年期			
	5	女性のライフサイクルにおける女性の健康障害と看護 ①外来看護 ②症状の看護			
	6	〃 ③臓器別疾患・機能別疾患患者の看護			
	7	〃 ④治療を受ける患者の看護			
8	筆記試験（1時間）				
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学1 母性看護学概論 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学9 女性生殖器 医学書院				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験で評価する。 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	精神看護学概論				
履修年次	1年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1 単位(15時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	病院勤務経験有		
目的/概要	精神看護の目的と、看護の役割を学ぶ。				
到達目標	1.精神保健医療福祉の歴史や法制度を理解できる。 2.精神医療の現状と課題を学び、精神看護の概念を理解できる。 3.文化や慣習と精神の関係性、世界の精神医療における考え方を理解できる。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	心のケアと現代社会、精神医療の動向			
	2	精神看護学の課題、基本的考え方			
	3	精神障害の法的定義			
	4	精神保健医療福祉の法制度			
	5	精神障害と医療の歴史・変遷			
	6	精神障害と文化・社会学			
	7	医療の場におけるメンタルヘルスと看護 (テキスト：精神看護学[2])			
	8	筆記試験 (1時間)			
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1] 精神看護の基礎 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[2] 精神看護の展開 医学書院				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験および平常点で評価する。60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	精神健康支援論				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	なし		
	非常勤講師	実務経験	病院勤務経験有		
目的/概要	精神の構造と機能、人間の健全な心の発達と心の健康を保持増進する方法を学ぶ。				
到達目標	1.精神の健康の定義を知り、心のさまざまな働きとしくみについて3側面から理解できる。 2.自己の心の健康を保持増進する方法を理解できる。 3.看護における感情労働を理解し、看護師のメンタルヘルスについて考えることができる。				
授業計画	時期	授業内容			
	1 宇佐美	陽性転移と陰性転移について			
	2	逆転移について			
	3	退行について			
	4	こころのコンテイナー機能について			
	5	良い対象と悪い対象について			
	6	抱えることについて			
	7	イネイブラーと家族ホメオスタシスについて			
	8	筆記試験①（1時間）			
	9 緑川	精神保健の考え方、精神の健康			
	10	ストレスと危機・心的外傷が及ぼす影響と回復			
	11	地域における精神保健と精神看護①			
	12	地域における精神保健と精神看護②			
	13	精神の健康の保持増進に係る政策①			
	14	精神の健康の保持増進に係る政策②			
	15	看護職の精神保健 看護における感情労働と看護師のメンタルヘルス			
16	筆記試験②（1時間）				
使用教材	テキスト 宇佐美：こころのナース夜野さん 2・6巻 小学館 大切な人が死ぬとき 竹書房 緑川：1. 系統看護学講座 専門分野II 精神看護学[1]精神看護の基礎 医学書院 2. 系統看護学講座 専門分野II 精神看護学[2]精神看護の展開 医学書院				
履修上の注意	課題は期日までに提出されたものを採点する。				
成績評価の方法	筆記試験①（授業内レポート含む） 筆記試験②（課題の提出状況、平常点含む） 筆記試験①・②平均で評価する。 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	精神疾病論				
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	病院勤務経験有		
目的／概要	精神障害の特徴と精神疾患の症状・検査・治療について学ぶ。				
到達目標	1.精神の機能障害であるさまざまな精神症状を理解できる。 2.精神障害の診断・分類、検査・治療について理解できる。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	統合失調症			
	2	気分障害			
	3	神経症性障害・ストレス関連障害①			
	4	神経症性障害・ストレス関連障害②			
	5	パーソナリティ障害・睡眠障害			
	6	認知症			
	7	摂食障害			
	8	筆記試験（1時間）			
使用教材	テキスト：系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1] 精神看護の基礎 医学書院				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験で評価し、60点以上を合格とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	精神看護の方法				
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	経験年数	病院勤務経験有		
	看護師		病院勤務経験有		
目的/概要	精神に障害がある対象の看護の展開に必要な知識と援助技術を学ぶ。				
到達目標	<p>1.患者への接近の仕方やかかわり方、看護師自身の感情の扱いなど精神障害を持つ人へのケアの基本的な方法を身につける。</p> <p>2.精神障害を持つ人々の回復を促し、支援するさまざまなアプローチが理解できる。</p> <p>3.精神障害を持つ人々の地域生活を支える社会制度とその基盤となる考え方が理解できる。</p>				
授業計画	時期	授業内容			
	1 緑川	ケアの人間関係① 関係のアセスメント→プロセスレコードの検討ー			
	2	ケアの人間関係② ケアの原則・方法			
	3	精神看護に活用される看護理論			
	4	紙上事例の看護過程①（グループワーク） 情報収集とストレンクス・機能障害・能力障害			
	5	紙上事例の看護過程②（グループワーク） 普遍的セルフケアのアセスメント			
	6	紙上事例の看護過程③（グループワーク） 看護計画の立案			
	7	紙上事例の看護過程④ 看護過程まとめ			
	8	筆記試験①（1時間）			
	9 中鉢	精神に障害のある対象の理解と看護師の役割			
	10	回復を助ける リハビリテーション・プログラム等			
	11	回復を助ける 入院治療の目的と意味 治療的環境をつくる			
	12	安全を守る 行動制限における看護 精神科における事故			
	13	身体をケアする 薬物療法における看護 身体合併症について			
	14	症状マネジメント 抑うつ・躁・幻覚・妄想・脅迫・無為・自閉・拒絶			
	15	地域における精神保健と精神看護			
16	筆記試験②（1時間）				
使用教材	<p>1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[1]精神看護の基礎 医学書院</p> <p>2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 精神看護学[2]精神看護の展開 医学書院</p> <p>3. 看護実践のための根拠がわかる精神看護技術 メヂカルフレンド社</p>				
履修上の注意	課題は期日までに提出されたものを採点する。				
成績評価の方法	<p>筆記試験①（課題の提出状況、平常点含む）</p> <p>筆記試験②</p> <p>筆記試験①・②の平均で評価する。 60点以上合格</p>				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	医療安全 I				
履修年次	2年次	履修学期	前期	授業形態	講義/演習
曜日・時限		単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
目的/概要	看護を安全に実践するための医療安全の基礎的能力を身につける。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全を学ぶことの重要性を理解できる。 2. 看護職の法的規定について理解できる。 3. 医療安全への取り組みと医療の質の評価について理解できる。 4. 事故発生のメカニズムを説明できる。 5. 看護における医療事故と安全対策について理解できる。 6. 医療事故発生後の対応について説明できる。 				
授業計画	時期	授業内容			
	1	医療安全の意味と重要性 事故防止の考え方 医療事故とは、事故の構造、 事故防止の視点 事故防止の考え方			
	2	事故防止 診療の補助			
	3	療養上の世話 さまざまな業務における間違いと発生要因①			
	4	さまざまな業務における間違いと発生要因②			
	5	医療安全対策の国内外の潮流			
	6	看護師の労働安全衛生上の事故防止			
	7	放射線の理解 外部被曝防護の3原則の確認（演習）			
	8	筆記試験			
使用教材	系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践 2 医療安全 医学書院				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験、提出課題の内容をもとに評価する。課題は提出期限内に提出したものを評価対象とする。筆記試験（90%）、課題・授業態度（10%）、60点以上を合格とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	医療安全 II				
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
目的/概要	医療事故防止のためのコミュニケーションのあり方と組織的な医療安全管理対策を学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 医療安全におけるコミュニケーションの重要性について理解できる。 2. 組織的な医療安全管理の考え方について理解できる。 3. 医療事故発生後の対応について説明できる。 				
授業計画	時期	授業内容			
	1	医療安全とコミュニケーション			
	2	〃			
	3	組織的な安全管理体制への取り組み 医療安全対策			
	4	組織的な安全管理体制への取り組み 危険予知トレーニング			
	5	組織的な安全管理体制への取り組み 根本原因分析法			
	6	〃			
	7	〃			
	8	筆記試験			
使用教材	系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践2 医療安全 医学書院				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験、提出課題の内容、授業態度をもとに評価する。課題は提出期限内に提出したものを評価対象とする。筆記試験（70%）、課題・授業態度（30%）、60点以上を合格とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	看護管理				
履修年次	3年次	履修学期	前期	授業形態	講義
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(15時間)		
担当教員	副校長	実務経験	病院勤務経験有		
目的/概要	看護管理の必要性と意義、看護サービスの質向上を目指したマネジメントのあり方を学ぶとともに専門職業人としての役割と責任について学習する。				
到達目標	<p>1.看護の目的を効率的、効果的、そして創造的に果たすための組織運営や人材マネジメントのあり方を理解する。</p> <p>2.看護を取り巻く制度・政策、さらにはグローバル化する国際社会における看護の役割を理解する。</p>				
授業計画	時期	授業内容			
	1	看護とマネジメント、看護ケアのマネジメント			
	2	看護の継続性と情報共有 チーム医療と多職種連携			
	3	看護サービスのマネジメント 人材育成とキャリアマネジメント			
	4	看護サービスのマネジメント サービス提供の仕組みづくり 看護の質評価			
	5	看護管理の視点からとらえた倫理的課題			
	6	看護を取り巻く法律・諸制度			
	7	看護管理の展望・看護の国際化			
	8	筆記試験（1時間）			
使用教材	テキスト：系統看護学講座 統合分野 看護管理 看護の統合と実践1 医学書院				
履修上の注意	特になし				
成績評価の方法	筆記試験で評価する。 60点以上を合格とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	災害看護と国際看護				
履修年次	2年次	履修学期	後期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	非常勤講師	実務経験	災害支援経験有		
目的/概要	災害時の看護活動や国際看護活動について理解し、災害看護・国際看護に必要な知識・技術を習得する。				
到達目標	1.災害サイクルのそれぞれの時期における特徴と活動すべき内容を基に、災害看護に必要な知識・技術を理解する。 2.国際救援、開発協力における看護師の活動を理解する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	災害看護の基礎知識 災害医療の特徴、災害看護の定義と役割			
	2	急性期の看護① 被災病院における初動体制と傷病者の受入れ			
	3	急性期の看護② トリアージ（演習）			
	4	急性期の看護③ 災害時特有の病態(外傷)とケア、応急処置、搬送（演習）			
	5	急性期・亜急性期の看護① 避難所の設置と運営			
	6	急性期・亜急性期の看護② 避難所における健康と生活支援			
	7	慢性期・復興期の看護① 応急仮設住宅における被災者生活支援			
	8	慢性期・復興期の看護② 復興期における被災住民への生活支援と看護の役割			
	9	静穏期の看護 地域防災・地域減災			
	10	災害とこころのケア			
	11	被災者特性に応じた災害看護の展開①			
	12	被災者特性に応じた災害看護の展開②			
	13	国際看護学に関連する基礎知識 国際協力のしくみ、文化を考慮した看護			
	14	国際救援と看護 国際救援における看護の展開			
15	筆記試験・まとめ				
使用教材	浦田喜久子,小原真理子編：系統看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学, 医学書院 その他、参考図書・参考文献については、授業の中で提示していく。				
履修上の注意	・技術演習では、動きやすい服装とする。 ・講義内容によっては、精神的苦痛を伴う場合も考えられるため、その場合は直ちに申し出ること。				
成績評価の方法	筆記試験・グループワーク・演習・授業態度を総合的に評価し、60点以上を合格とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	看護研究Ⅱ				
履修年次	3年次	履修学期	前期・後期	授業形態	講義/演習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	1単位(30時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
目的/概要	研究プロセスを体験し、看護を科学的、論理的に探究する方法を学ぶ。				
到達目標	1. ケーススタディをまとめ、自己の看護を振り返る。 2. 看護を科学的、論理的に考える方法を理解する。				
授業計画	時期	授業内容			
	1	1. 看護研究Ⅱ オリエンテーション (1時間)			
	2	2. 研究計画作成 (1時間)			
	3	3. 原稿作成①			
	4	原稿作成②			
	5	4. 発表原稿作成① 夏休みの計画			
	6	発表原稿作成②			
	7	5. 抄録作成①			
	8	6. 発表原稿作成①			
	9	発表原稿作成②			
	10	発表原稿作成③			
	11	7. 発表会場準備・発表準備			
	12	8. 看護研究Ⅱ 発表会①			
	13	看護研究Ⅱ 発表会②			
	14	看護研究Ⅱ 発表会③			
	15	看護研究Ⅱ 発表会④			
16	看護研究Ⅱ 発表会⑤				
使用教材	テキスト：松本孚,森田夏実：看護のためのわかりやすいケーススタディの進め方.照林社, 2012.				
履修上の注意	看護研究Ⅱの指導教員は、計画書の提出後に決定しお知らせします。				
成績評価の方法	ケーススタディ評価表で採点する。60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	基礎看護学実習Ⅰ				
履修年次	1年次	履修学期	前期・後期	授業形態	実習
曜日・時限	月～金曜日	単位時間数	1単位(45時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
目的/概要	基礎看護学で修得した知識・技術を基に、対象に応じた看護実践ができる能力を養う。				
到達目標	<p>Ⅰ（前期） 1.療養環境を知る。 2.患者の入院生活の実際を知る。 3.看護活動の実際を知る。</p> <p>Ⅰ（後期） 1.患者の日常生活行動を知る。 2.患者の状態に合わせた日常生活の援助を実施する。 3.自己の行った援助を評価する。</p>				
授業計画	時期	授業内容			
Ⅰ （前期）	6月 (15時間)	<p>実習施設：東北労災病院 全体でオリエンテーションを受け、グループにわかれ病院見学・病棟での実習を行う</p> <p>1.病院全体のオリエンテーションを受ける（看護部長） 実習施設の概要と看護活動</p> <p>2.病棟オリエンテーションを受ける（看護師長）</p> <p>3.病棟内を見学する</p> <p>4.病院内を見学する（専任教員）</p> <p>5.看護活動の実際を見学する</p> <p>6.患者に接し入院生活について話を伺う</p> <p>7.病棟での学びを発表する（病棟指導者・専任教員）</p> <p>8.実習グループごとに学びを話し合い、グループごとに発表する（学内）</p>			
Ⅰ （後期）	10月 (30時間)	<p>実習施設：東北労災病院 グループに分かれそれぞれの病棟で実習する。</p> <p>1.病棟オリエンテーションを受ける（看護師長）</p> <p>2.患者を1名受け持ち、援助を行う（実習指導者・専任教員）</p> <p>1) 受け持ち患者のオリエンテーションを受ける</p> <p>2) 受け持ち患者の情報収集を行う</p> <p>3) 看護援助を見学する</p> <p>4) 受け持ち患者へ看護を実施する</p> <p>5) 実施した援助を評価する</p> <p>3.グループで実習の学びを発表する（実習指導者・専任教員）</p>			
使用教材	実習に必要な教科書・参考書を持参する。				
履修上の注意	病棟の患者構成に合わせて、事前学習を行う。				
成績評価の方法	<p>実習評価表Ⅰ（前期）30点満点、実習評価表Ⅰ（後期）70点満点 の内容で評価する。</p> <p>実習評価表Ⅰ（前期）・実習評価表Ⅰ（後期）を合計して基礎看護学実習Ⅰの評価する。 60点以上を合格とする。</p>				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	基礎看護学実習Ⅱ				
履修年次	2年次	履修学期	前期・後期	授業形態	実習
曜日・時限	月～金曜日	単位時間数	2単位(90時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
目的／概要	基礎看護学で修得した知識・技術を基に、対象に応じた看護実践ができる能力を養う。				
到達目標	1.看護過程の展開ができる。 2.自己の看護観を深めることができる。				
授業計画	時期	授業内容			
	9月	<p>実習施設：東北労災病院 グループに分かれ、各病棟で実習を行う。</p> <p>1.病棟オリエンテーションを受ける（看護師長） 2.患者を1名受け持ち、援助を行う（実習指導者・専任教員）</p> <p>1) 受け持ち患者のオリエンテーションを受ける。 2) 受け持ち患者の状態をアセスメントし、援助の必要性を判断する。 3) 受け持ち患者の看護問題を明確化し、看護計画を立案する。 4) 立案した看護計画に基づき、看護を実施する。 5) 実施した援助を評価する。 6) 指導者・教員から指導を受ける。</p> <p>3.グループで実習の学びを発表する（実習指導者・専任教員） 4.実習をふり返り、自分の看護を考える。</p>			
使用教材	実習に必要な教科書・参考書を持参する。				
履修上の注意	病棟の構成に合わせて、事前準備を行う。				
成績評価の方法	実習評価表Ⅱの内容で評価する。60点以上を合格とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	地域・在宅看護論実習				
履修年次	3年次	履修学期	前期・後期	授業形態	実習
曜日・時限	火～金曜日	単位時間数	2単位(90時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
目的/概要	地域で生活しながら療養する人々と家族を理解し、在宅での看護の基礎を学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 在宅看護の対象が理解できる。 2. 在宅看護の機能と役割が理解できる。 3. 対象の生活環境に応じた看護の実際が理解できる。 4. 地域におけるケアサポートシステムの実際が理解できる。 				
授業計画	時期	授業内容			
	訪問看護ステーション実習 5～11月 (35時間)	実習施設：宮城県看護協会訪問看護ステーション <ol style="list-style-type: none"> 1.オリエンテーションを受け、訪問看護の概要を理解する。 2.訪問看護に同行し、療養者の状況を理解する。 3.訪問事例の1事例の看護計画を立案する 1) アセスメント 2) 看護問題を明確化・看護計画の立案 4.訪問看護の実際を見学し、一部実施する。 5.社会資源の活用、関係する機関・職種との連携を理解する 			
	入退院支援実習 4～11月 (20時間)	実習施設：東北労災病院 入退院支援センター <ol style="list-style-type: none"> 1.オリエンテーションを受け、入退院支援のプロセスを理解する。 2.入退院支援を受けている対象を理解する。 3.入退院支援における看護師の役割を理解する。 4.社会資源の活用、多職種との連携を理解する。 			
	労災特別介護施設実習 5～11月 (17時間)	実習施設：労災特別介護施設（ケアプラザ富谷） <ol style="list-style-type: none"> 1.施設のオリエンテーションを受け、施設の概要を理解する。 2.入居者の生活、日常生活の援助方法を理解する。 3.多職種との連携を理解する。 4.入居者の障害や健康状態に即した介護サービス、社会資源を理解する。 			
	介護老人福祉施設実習 5～11月 (18時間)	実習施設：介護老人福祉施設 （バルシア・暁星園・シオンの園・ハートケア鶴ヶ谷） <ol style="list-style-type: none"> 1.施設のオリエンテーションを受け、施設の概要を理解する。 2.入居者の生活、日常生活の援助方法を理解する。 3.多職種との連携を理解する。 4.入居者の障害や健康状態に即した介護サービス、社会資源を理解する。 			
使用教材	実習に必要な教科書・参考書を持参する。				
履修上の注意	事前学習をして臨む。				
成績評価の方法	訪問看護ステーション実習：在宅看護論実習評価表 A（40点） 入退院支援・外来実習：在宅看護論実習評価表 B（20点） 労災特別介護施設実習：在宅看護論実習評価表 C（20点） 介護老人福祉施設実習：在宅看護論実習評価表 D（20点） それぞれの評価表を使用し、合計点を評価とする。60点以上を合格とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	成人・老年看護学実習Ⅰ				
履修年次	3年次	履修学期	前期・後期	授業形態	実習
曜日・時限	火～金曜日	単位時間数	2単位(90時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験あり		
目的／概要	手術療法を受ける対象の特徴を理解し、安全に手術に臨むための看護、術後合併症予防および回復を促進するための看護、退院へ向けた看護の方法を学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 周手術期にある対象を理解し、発達段階・健康レベルに応じた看護を実施できる。 2. 周手術期患者に必要な看護援助を理解し、説明できる。 3. 多職種との連携・協働について理解できる。 				
授業計画	時期	授業内容			
	4月～11月	<p>実習施設：東北労災病院 (3西病棟 整形外科病棟・7東病棟 消化器外科病棟) 成人期・老年期の周手術期患者を受け持つ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.病棟オリエンテーションを受ける（看護師長） 2.受け持ち患者を1名受け持ち患者の援助を行う（実習指導者・専任教員） 3.手術療法を受ける患者と家族を理解する <ol style="list-style-type: none"> 1) 患者の全体像の把握 2) 家族の理解 4.手術を安全に受けるための援助を理解する <ol style="list-style-type: none"> 1) 手術侵襲・術後合併症の理解 2) 手術についての理解 3) 患者の心理面の理解と援助 4) 全身状態を整える援助 5) 手術に向けての援助 6) 家族への配慮 5.手術を見学する 6.手術後の患者の看護を実施する <ol style="list-style-type: none"> 1) 手術後の患者のアセスメントと看護問題の抽出 2) 看護計画の立案・実施・評価 7.退院に向けた援助を行う 8.周手術期におけるチーム医療を理解する 9.カンファレンスを行い、学びを共有する 10.グループで実習の学びを発表する（実習指導者・専任教員） 11.実習をふり返り、成人期・老年期の周手術期の看護を考える 			
使用教材	実習に必要な教科書・参考書を持参する。				
履修上の注意	事前学習をして臨む。				
成績評価の方法	成人・老年看護学実習Ⅰの評価表の内容で評価する。60点以上を合格とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	成人・老年看護学実習Ⅱ				
履修年次	3年次	履修学期	前期・後期	授業形態	実習
曜日・時限	火～金曜日	単位時間数	2単位(90時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
目的／概要	急性期にある対象を理解し、生命維持、身体機能回復過程および合併症予防、退院を見据えた看護の方法を学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 急性期にある対象を理解し、発達段階・健康レベルに応じた看護を実施できる。 急性期にある対象の生命維持、健康回復過程に応じた看護を実施できる。 多職種との連携・協働について理解できる。 				
授業計画	時期	授業内容			
	4～11月	<p>実習施設：東北労災病院（6東：循環器科・呼吸器科病棟／6西：呼吸器科病棟） 成人期・老年期の急性期における治療が必要な患者を受け持つ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 病棟オリエンテーションを受ける（看護師長） 急性期にある患者を1名受け持つ。（実習指導者・専任教員） 患者の全体像を理解し、看護過程を展開する <ol style="list-style-type: none"> 身体的側面の理解 ①病態と症状 ②全身臓器への影響 ③治療・検査に伴う二次障害のリスク ④現病歴・既往歴・生活習慣との関連性 ⑤発達段階・加齢変化に伴う影響 精神的側面の理解 3) 社会的側面の理解 4) 家族の理解 緊急性、重症度、健康障害、発達段階および加齢変化に応じた看護実践 <ol style="list-style-type: none"> フィジカルイグザミネーション 2) フィジカルアセスメント 相談・報告 4) 症状・苦痛に応じた看護 5) 二次的障害の予防 多職種との連携・協働について理解する カンファレンスを行い、学びを共有する グループで実習の学びを発表する（実習指導者・専任教員） 実習をふり返り、患者に応じた看護を考える 			
使用教材	実習に必要な教科書・参考書を持参する。				
履修上の注意	事前学習をして臨む。				
成績評価の方法	成人・老年看護学実習Ⅱの評価表の内容で評価し、60点以上を合格とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	成人・老年看護学実習Ⅲ				
履修年次	3年次	履修学期	前期・後期	授業形態	実習
曜日・時限	火～金曜日	単位時間数	2単位(90時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
目的／概要	慢性期にあり、生涯にわたり疾病のコントロールが必要な対象について理解し、社会生活を継続できるための看護の方法を学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 慢性期にある対象を理解し、発達段階および健康レベルに応じた看護を実施できる。 2. 患者がその人らしい生活をするためのセルフケア支援の方法を考え、実施できる。 3. 継続看護の重要性を理解できる。 4. 多職種との連携・協働について理解できる。 				
授業計画	時期	授業内容			
	4～11月	<p>実習施設：東北労災病院（4東病棟 糖尿病代謝内科病棟） 成人期・老年期の疾病コントロールの必要な患者を受け持つ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.病棟オリエンテーションを受ける（看護師長） 2.受け持ち患者を1名受け持ち患者の援助を行う（実習指導者・専任教員） 3.疾病コントロールが必要な患者と家族を理解する <ol style="list-style-type: none"> 1) 患者の全体像の把握 2) 家族の理解 4.疾病コントロールが必要な患者の援助を行う <ol style="list-style-type: none"> 1) 患者のアセスメントと看護問題の抽出 2) 看護計画の立案・実施・評価 5.集団指導場面の見学をする 6.退院指導を見学する 7.多職種による各種指導・相談を見学する 8.カンファレンスを行い、学びを共有する 9.グループで実習の学びを発表する（実習指導者・専任教員） 10.実習をふり振り返り、成人期・老年期の疾病コントロールの看護について考える 			
使用教材	実習に必要な教科書・参考書を持参する。				
履修上の注意	事前学習をして臨む。				
成績評価の方法	成人・老年看護学実習Ⅲの評価表の内容で評価する。60点以上を合格とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2024年度 授業計画（シラバス）

科目名	成人・老年看護学実習Ⅳ				
履修年次	3年次	履修学期	前期・後期	授業形態	実習
曜日・時限	火～金曜日	単位時間数	2単位(90時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
目的/概要	回復期・リハビリテーション期にある成人期または老年期の対象を理解し、回復を促進するための看護の方法を学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. リハビリテーションを受ける対象を理解し、発達段階・健康レベルに応じた看護を実施できる。 2. その人らしい生活の再構築に向けた援助を理解できる。 3. 多職種との連携・協働について理解できる。 				
授業計画	時期	授業内容			
	4～11月	<p>実習施設：東北労災病院（3東病棟 整形外科病棟・5西病棟 リハビリテーション科/脳神経外科/皮膚科/泌尿器科病棟）</p> <p>成人期・老年期の手術療法を受けた患者を受け持つ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.病棟オリエンテーションを受ける（看護師長） 2.受け持ち患者を1名決定し、援助を行う（実習指導者・専任教員） 3.回復期・リハビリテーション期にある患者と家族を理解する <ol style="list-style-type: none"> 1) 患者の全体像の把握 2) 家族の理解 4.回復期・リハビリテーション期にある患者の看護過程を展開する <ol style="list-style-type: none"> 1) 健康状態、回復状況、発達段階に応じたアセスメントと看護問題の抽出 2) 看護計画の立案・実施 3) 回復状況に合わせた看護計画の評価・修正 5.生活の再構築へのアセスメントと援助を行う <ol style="list-style-type: none"> 1) 退院後のライフスタイルや生活環境についての情報収集 2) その人らしい生活の再構築に向けた患者・家族への援助 3) 患者の価値観や人生観を尊重した関わり 6.チームアプローチと看護の役割を理解する 7.カンファレンスを行い、学びを共有する 8.グループで実習の学びを発表する（実習指導者・専任教員） 9.実習をふり返り、成人期・老年期のリハビリテーション期の看護について考える 			
使用教材	実習に必要な教科書・参考書を持参する。				
履修上の注意	事前学習をして臨む。				
成績評価の方法	成人・老年看護学実習Ⅳの評価表の内容で評価し、60点以上を合格とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	成人・老年看護学実習Ⅴ				
履修年次	3年次	履修学期	前期・後期	授業形態	実習
曜日・時限	火～金曜日	単位時間数	2単位(90時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
目的／概要	終末期にある対象を全人的に理解し、苦痛を緩和するための看護の方法を学ぶ。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 終末期にある対象を全人的に理解し、健康障害に応じた看護を実施できる。 2. 対象のその人らしさを尊重した支援の必要性を理解できる。 3. 多職種との連携・協働について理解できる。 				
授業計画	時期	授業内容			
	4～11月	<p>実習施設：東北労災病院（8階病棟） 成人期・老年期の終末期の患者を受け持つ。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.病棟オリエンテーションを受ける（看護師長） 2.受け持ち患者を1名受け持ち患者の援助を行う（実習指導者・専任教員） 3.終末期にある患者と家族を理解する <ol style="list-style-type: none"> 1) 患者の全体像の把握 2) 終末期の特徴 3) 家族の理解 4.心身の苦痛を緩和するための援助を行う <ol style="list-style-type: none"> 1) 患者のアセスメントと看護問題の抽出 2) 看護計画の立案・実施・評価 5.患者のQOLを理解する 6.関係する職種と医療チームとしての看護の役割を理解する 7.カンファレンスを行い、学びを共有する 8.グループで実習の学びを発表する（実習指導者・専任教員） 9.実習をふり返り、終末期の看護を考える 			
使用教材	実習に必要な教科書・参考書を持参する。				
履修上の注意	事前学習をして臨む。				
成績評価の方法	成人・老年看護学実習Ⅴの評価表の内容で評価する。60点以上を合格とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	小児看護学実習Ⅰ				
履修年次	2年次	履修学期	前期・後期	授業形態	実習
曜日・時限	火～金曜日	単位時間数	1単位(45時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
目的／概要	小児各期の特徴と、小児を取り巻く環境を理解し、その成長発達を促すための援助を学ぶ 地域・施設における健康を障害された小児と家族を理解し、成長発達を促す環境を学ぶ				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児各期の特徴を理解し、その成長発達を促すための援助ができる。 2. 小児の健やかな成長発達を促す望ましい環境が理解できる。 3. 小児を取り巻く保健・医療・福祉および教育との連携を知り、小児看護の役割を理解できる。 				
授業計画	時期	授業内容			
保育所実習	6月 (40時間)	実習施設：仙台市内の保育所 1.各保育所でのオリエンテーションを受ける 2.乳幼児期の各クラスに入り、保育日課に沿って実習する。 1) 健康な乳幼児の成長発達を理解する 2) 基本的な生活習慣の自立に合わせた援助を学ぶ 3) 保育所の健康管理と安全管理を学ぶ 4) 遊びと成長発達について学ぶ 3.実習のまとめを行い学びを共有する			
施設見学実習	11月 (5時間)	実習施設：宮城県立拓桃園・宮城県立拓桃支援学校、宮城県立こども病院 1.オリエンテーションを受け、施設の概要を知る 2.障害児の日常生活や学校生活の実際を見学する。 3.児童福祉法・障害者総合支援法についての理解を深める。			
使用教材	実習に必要な教科書・参考書を持参する。				
履修上の注意	事前学習をして臨む。				
成績評価の方法	保育所実習・施設見学実習：小児看護学実習Ⅰ評価表の内容で評価する。 60点以上を合格とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	小児看護学実習Ⅱ				
履修年次	3年次	履修学期	前期・後期	授業形態	実習
曜日・時限	火～金曜日	単位時間数	1単位(45時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
目的／概要	健康を障害された小児と家族を理解し、健康と発達の各段階に応じた看護の実際を学ぶ				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 小児の特徴と健康障害の状況を考え、小児の成長発達をふまえた適切な看護が理解できる。 2. 小児看護に必要な基本技術が実施できる。 3. 小児の安全な環境を理解し、事故防止・感染防止ができる。 4. 健康を障害された小児の家族の心理が理解できる。 5. 小児と家族に対する外来看護の役割が理解できる。 				
授業計画	時期	授業内容			
病院実習	4月～11月 (45時間)	実習施設：東北労災病院（7西病棟 小児科、小児科外来） 1.病棟・外来オリエンテーションを受ける（看護師長・外来看護師） 2.受持ち患者の援助を行う（実習指導者・専任教員） <ol style="list-style-type: none"> 1) 受け持ち患児の成長発達・疾病及び症状を理解する 2) 小児のバイタルサインの測定等を実施する 3) 小児の安全・感染防止対策を実施する 4) 家族の身体的・心理的状況を理解し、援助する 3.外来看護師の役割を学ぶ 4.グループで実習の学びを発表する（実習指導者・専任教員） 5.実習をふり返り、小児期の看護を考える。			
使用教材	実習に必要な教科書・参考書を持参する。				
履修上の注意	事前学習をして臨む。				
成績評価の方法	病院実習：小児看護学実習Ⅱ評価表の内容で評価する。60点以上を合格とする。				

科目名	母性看護学実習				
履修年次	3年次	履修学期	前期・後期	授業形態	実習
曜日・時限	火～金曜日	単位時間数	2単位(90時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
目的/概要	妊娠・分娩・産褥期における母性と新生児およびその家族、育児環境を理解し、看護実践ができる基礎的能力を身につける。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠各期の身体的、心理・社会的特徴および、必要な看護を理解できる。 2. 分娩期の経過と各期に必要な看護を理解できる。 3. 産褥期の身体的、心理・社会的特徴および、必要な看護を理解できる。 4. 新生児の生理的特徴および、子宮外生活適応のために必要な看護を理解できる。 5. 退院後の育児環境（家族・地域）について理解し、対象に必要な健康支援と社会制度について考えることができる。 				
授業計画	時期	授業内容			
	4～11月	<p>実習施設：新富谷S・Sレディースクリニック</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. クリニックのオリエンテーションを受ける（看護師長・実習指導者） 全体オリエンテーションを実施 2. 妊娠中の身体的・心理的・社会的変化を理解し、必要な看護を学ぶ <ol style="list-style-type: none"> 1) 妊婦健診の見学 2) 保健指導の見学（個人・集団） 3) 社会資源の活用の実際 3. 分娩経過を見学し必要な看護を理解する 4. 産褥期の身体的・心理的・社会的変化を理解し、必要な看護を学ぶ 褥婦を1名受け持ち、褥婦の援助を行う <ol style="list-style-type: none"> 1) 褥婦の情報収集を行い正常経過を理解する 2) 看護計画を立案し、実施する 3) 産褥期の保健指導を見学する 4) 母親役割行動を理解する 5) 退院後の育児環境について理解する 6) 社会資源活用の実際 5. 受け持ち褥婦の新生児の看護を実施する <ol style="list-style-type: none"> 1) 新生児を観察し、生理的变化を理解する 2) 生後日数に応じた看護を見学・実施する 6. 家族への看護を見学する <p>実習施設：とも子助産院</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 助産院のオリエンテーションを受け施設の概要を知る（助産院指導者） 2. 助産院の予定に合わせて実習し、地域での妊産褥婦の生活状況を知る <ol style="list-style-type: none"> 1) 妊婦健診の見学 2) 保健指導の見学 3) 育児相談・母乳相談の見学 4) サークル活動への参加 5) 社会資源活用の実際 <p>グループで実習の学びを発表する（実習指導者・専任教員） 実習をふり返り、母性看護について考える。</p>			
使用教材	実習に必要な教科書・参考書を持参する。				
履修上の注意	事前学習をして臨む。				
成績評価の方法	母性看護学実習評価表の内容で評価する。 60点以上合格				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画 (シラバス)

科目名	精神看護学実習				
履修年次	3年次	履修学期	前期・後期	授業形態	実習
曜日・時限	月～金曜日	単位時間数	2単位(90時間)		
	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
目的/概要	精神に障害のある対象とその家族に対する理解を深め、看護を実践できる基礎的能力を養う。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神に障害のある対象および家族を理解できる。 2. 精神に障害のある対象との関係をとおして自己理解を深めることができる。 3. 精神に障害のある対象が、より良い生活を送るために必要な看護を学ぶことができる。 4. 精神に障害のある対象に現れている精神症状を理解し、適切な関わりを学ぶことができる。 5. 精神に障害のある対象の、治療的環境を理解できる。 6. 社会資源の活用と、精神保健医療にかかわる各専門職種役割を理解できる。 7. 社会復帰施設の特徴や機能、地域生活を支える社会制度を理解する。 8. 精神に障害のある対象の、地域での生活を理解する。 				
授業計画	時期	授業内容			
病院実習	6～7月 (76時間)	実習施設：宮城県立精神医療センター グループごと各病棟で実習する 1.病院で全体オリエンテーションを受ける（看護部長ほか） 2.受け持ち患者を1名受け持ち患者の援助を行う（実習指導者・専任教員） 1) 患者の把握 2) 家族状況の把握 3) 日常生活行動の把握とアセスメント、看護 4) 精神症状の把握と治療的かわり 5) 個人の尊厳と安全を守る治療的環境の理解 6) 受け持ち患者のアセスメント・問題点の明確化・実施・評価 3.プロセスレコードによる自己理解・患者の対人関係パターンを理解し関係を形成する 4.患者が利用できる社会資源について理解する 5.チームでの連携・協働と、役割を理解する 6.カンファレンスを行い、学びを深める 7.グループで実習の学びを発表する（実習指導者・専任教員）			
施設実習	5～11月 (14時間)	実習施設：みんなの輪（わ・は・わ）各事業所、名取市友愛作業所 グループごと実習する 1.施設のオリエンテーションを受ける（施設指導者） 2.施設の日課・行事に従って、利用者と共にプログラムに参加する 3.利用者の地域での生活を理解する 4.グループで実習の学びを発表する（実習指導者） 5.実習をふり返り、精神看護について考える			
使用教材	実習に必要な教科書・参考書を持参する。				
履修上の注意	事前学習をして臨む。				
成績評価の方法	精神看護学実習評価表Ⅰ（90点）、精神看護学実習評価表Ⅱ（10点）の合計点で評価する。 60点以上を合格とする。				

労働者健康安全機構 東北労災看護専門学校 2025年度 授業計画（シラバス）

科目名	看護の統合と実践の実習				
履修年次	3年次	履修学期	後期	授業形態	実習
曜日・時限	曜日・時限	単位時間数	2単位(90時間)		
担当教員	専任教員	実務経験	病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
	専任教員		病院勤務経験有		
目的／概要	既習の知識・技術・態度を統合して、看護チームの一員としての看護実践能力を身につける。				
到達目標	<p>1.病院における看護部長と病棟師長の役割を理解し、看護管理の実際を学ぶ。</p> <p>2.看護チームの日々のリーダー（コーディネーター）とメンバーの役割を理解し、他部門との連携およびチーム一員としての役割を学ぶ。</p> <p>3.複数患者を受持ち、優先度の決定と時間調整の必要性を理解し実践できる。</p> <p>4.卒業までに習得すべき看護技術を実施する。</p>				
授業計画	時期	授業内容			
	12月	<p>実習施設：東北労災病院</p> <p>グループに分かれ、各病棟で実習を行う。</p> <p>学内実習 1.複数患者の行動計画の立案（グループワークと発表）と多重課題</p> <p>2.看護方式（PNS）についての説明を受ける</p> <p>1.病院における看護管理の実際を知る</p> <p>1) 病院組織の看護管理（看護部長）についてオリエンテーションを受ける。</p> <p>2) 病棟の看護管理（看護師長）についてオリエンテーションを受け、見学実習を行う。</p> <p>3.リーダーと行動を共にし、チームリーダーの役割を理解する。</p> <p>4.メンバーと行動を共にし、チームメンバーの役割を理解する。</p> <p>1) 各勤務帯の業務概要日勤業務の経過を理解する</p> <p>2) 援助の実施</p> <p>3) リーダーへの報告・メンバー間の協力</p> <p>5.複数患者を受け持ち、患者に必要な援助計画を立案・実施する</p> <p>6.卒業までに修得すべき看護技術を習得する。</p> <p>学内実習 1. 実習での学びを話し合い、自己の課題を明確にする。</p> <p>グループごとに発表し、学びを共有する。</p>			
使用教材	実習に必要な教科書・参考書を持参する。				
履修上の注意	事前学習をして臨む。				
成績評価の方法	看護の統合と実践の実習の評価表を使用し評価する。60点以上を合格とする。				